

鹿児島県大隅地域を中心とした南九州における
サイクルツーリズムによる周遊促進に向けた
観光動向調査事業

— 報告書 —

平成 30 年 2 月

国土交通省九州運輸局

◇ ◆ ◇ 目 次 ◇ ◆ ◇

序章 本調査の概要等	1
1. 調査の背景と目的	1
2. 南九州におけるサイクルツーリズムのポテンシャル	2
(1) 南九州の特性	2
(2) 南九州地区におけるサイクリングイベントの開催状況	3
第Ⅰ章 アンケート調査結果	7
1. アンケート調査の実施概要	7
2. アンケート調査結果	9
(1) 南九州を周遊するサイクリスト向けアンケート調査結果	9
(2) 施設運営従事者向けアンケート調査結果	28
第Ⅱ章 全国の先進的事例の調査分析結果	31
1. 「瀬戸内しまなみ海道」の概要	31
2. 「瀬戸内しまなみ海道」サイクリングの特徴	32
3. しまなみ海道のサイクルツーリズムを支えているもの	39
4. ヒアリング調査結果	41
第Ⅲ章 調査分析結果を踏まえた課題の整理	56
1. アンケート調査結果から見えてきた問題点・課題	56
2. 先進事例調査から見えてきた課題克服の方向性	57
第Ⅳ章 南九州におけるサイクルツーリズムの促進策の検討	58
1. 促進策検討の方向性	58
2. 具体的な促進策の提案	60
<参考資料>	66
1. 報告会の開催結果	66
2. アンケート調査票	77

1. 調査の背景と目的

鹿児島県大隅地域は、錦江湾の南東に位置する大隅半島のほぼすべての地域を含み、南九州における観光・商業の重要なエリアであると同時に、吾平山上陵、雄川の滝、佐多岬といった観光資源が点在する魅力的な地域である。

しかしながら、九州新幹線の終着駅である鹿児島中央駅の所在する薩摩半島に比べ、交通アクセス面で課題を抱える本地域において、観光資源が有効に誘客に結びついていないと難しい、今後、構成する市町村が広域に連携を進め、観光資源の掘り起しや既存の観光資源の磨き上げを行う必要がある。

近年、サイクリングブームにより、大隅地域においてもサイクリストの走行が頻繁に見られるようになっており、薩摩半島の南さつま市や宮崎県日南市において、サイクルツーリズムに関する取組が進められているところである。

九州におけるサイクルツーリズムは、大分県が大分空港を拠点に展開する「サイクリングおおいだ」や、阿蘇くじゅう国立公園における環境省事業「国立公園満喫プロジェクト」における「阿蘇サイクルツーリズム」など、近年の健康志向の高まりを背景に、九州の雄大な自然を満喫する観光として注目が集まりつつある。

薩摩半島と大隅半島をつなぐ海上交通手段として、桜島フェリー、垂水フェリー、山川・根占フェリーに加え、2017年4月に指宿・根占間にも高速船が就航し、周遊性の向上によるさらなる誘客効果が期待され、今後、海上交通手段を活用した薩摩・大隅両半島周遊や宮崎県日南地域との連携など、サイクルツーリズムを通じた観光地域づくりが期待されるところである。

現在、大阪～志布志間を就航する「フェリーさんふらわあ」では、年間の自転車乗船台数が約180台で推移しているものの、本地域においては、複数自治体をまたにかけた観光動向調査の実績がなく、サイクリストの詳しい周遊状況は不明である。

そこで、大隅地域を中心とした南九州における自転車による日本人観光客の周遊動向を調査し、交通結節点や道の駅、宿泊施設や観光施設等の利用状況を把握することにより、自転車で周遊するモデルコースの策定や観光資源の情報発信、受入環境整備計画につながる調査分析を行うことを目的とする。

2. 南九州におけるサイクルツーリズムのポテンシャル

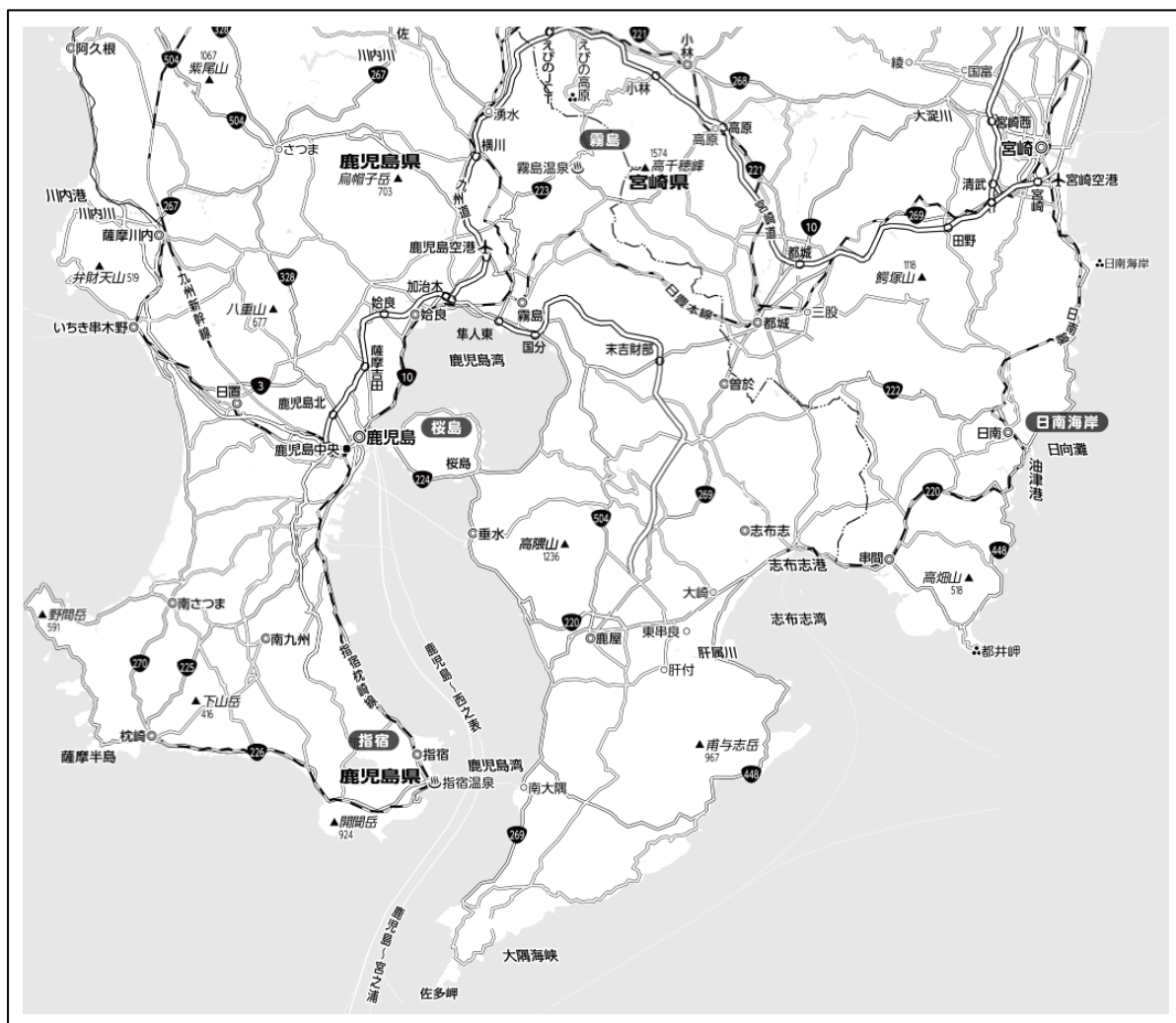
(1) 南九州の特性

大隅半島を中心とする南九州地区において、サイクルツーリズムを支える様々な要素を挙げることが出来る。代表的な自転車の組織として、リオデジャネイロオリンピック出場選手を擁する「シエルブルー」や、全日本学生ロード優勝経験もある「鹿屋体育大学自転車競技部」、世界大会出場選手もいる「南大隅高校自転車競技部」などの存在を挙げることができる。

また、アップダウンに富んだ地形、美しい景観の海岸沿いを走ることが出来るコースが存在し、吾平山上陵、雄川の滝、本土最南端の佐多岬等の観光資源をコース上に設定することもできる他、車両通行台数も少ないことから、サイクリングをする上で非常に適した地域となっている。

加えて、鹿児島港と桜島港を結ぶ桜島フェリー、鴨池港と垂水港を結ぶ垂水フェリー、山川港と根占港を結ぶ山川・根占フェリー、大阪南港と志布志港を結ぶフェリーさんふらわあ等が就航していることから、海上交通網を活用した広範囲なサイクルツーリズムを実現できるポテンシャルを有していると考えられる。

【南九州エリア】



(2) 南九州地区におけるサイクリングイベントの開催状況

南九州地区では、地域づくりの一環として自治体や民間団体等の協力により、地域の特性を活かしてサイクリングイベントが開催されている。

1) 大隅半島で開催されているサイクリングイベント

大隅半島で2017年に開催された主なサイクリングイベントは以下のとおり。また、鹿屋市ではイベント開催以外にもサイクリングマップ作成などの取組がみられている。

【大隅半島で2017年に開催された主なサイクリングイベント】

イベント名	概 要
サイクルフェスタ in 桜島 2017	○2017年2月25日(土)～26日(日)に開催。 ・桜島一周ファンライド(36km)の他、タイムトライアルレース、ヒルクライムロードレースを実施。
第9回鹿児島県 照葉樹の森 サイクルジャンボリー	○2017年5月21日(日)に開催。 ・29kmのヒルクライムレースと20kmのヒルクライムレースを実施。
第17回 ツール・ド・おおすみ	○2017年11月25日(土)～26日(日)に開催。 ・鹿屋市にある「かのやばら園」を出発地点として、3コースを設定。 SPコース(約30km)、Aコース(約100km)、Bコース(約60km)がある。
第3回かのやサイクル フェスティバル	○2017年12月23日(土・祝)に開催。 ・鹿屋市にある霧島ヶ丘公園の特設周回コースを7つのカテゴリーに 合わせて走行。小学生から成人まで参加できる。

【サイクリングイベントポスター】

○サイクルフェスタ in 桜島 2017



○第9回鹿児島県照葉樹の森 サイクルジャンボリー



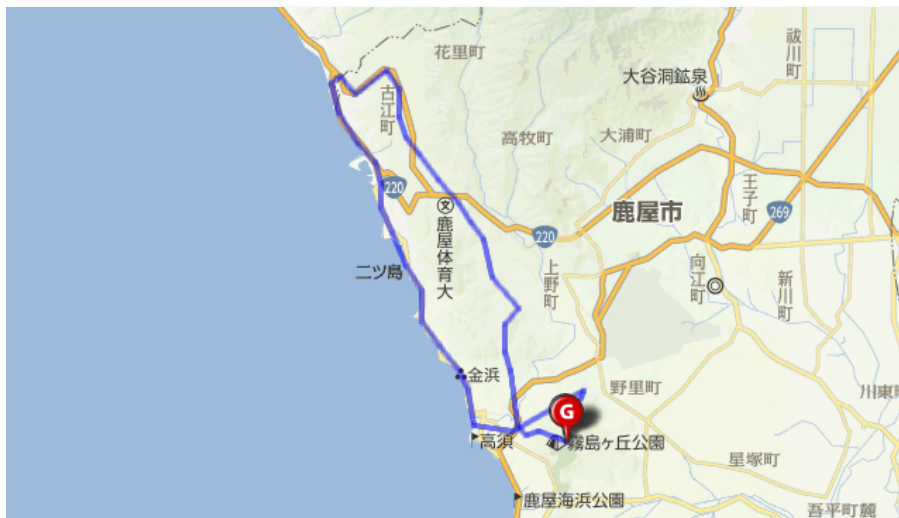
○第3回かのやサイクル フェスティバル



資料) 鹿児島県自転車競技連盟、鹿屋市役所 HP

【「ツール・ド・おおすみ」の設定コース】

OSPコース（距離 29.6km）



OAコース（距離 101.7km）

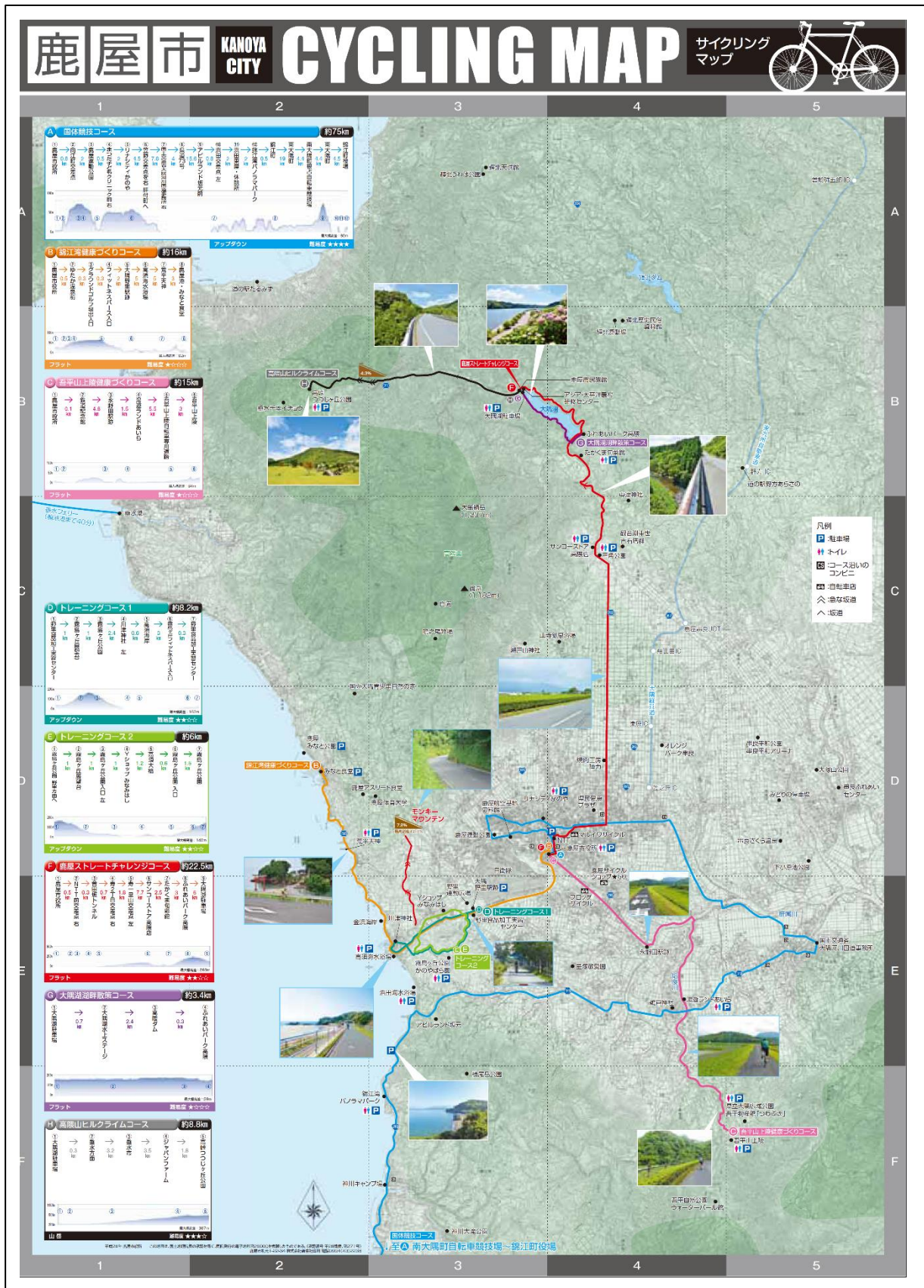


OBコース（距離 65.2km）



資料）ツール・ド・おおすみ実行委員会 HP

【鹿屋市が作成したサイクリングマップ】



資料) 鹿屋市役所 HP

2) 薩摩半島で開催されているサイクリングイベント

薩摩半島で開催されている主なサイクリングイベントとしては、南さつま市の「ツール・ド・南さつま」や指宿市の「指宿温泉 MTB 耐久」などが挙げられる。

① ツール・ド・南さつま「海道八景めぐり」(南さつま市)

官民一体となって下記のようなサイクリングイベントを毎年開催している。

【「ツール・ド・南さつま」のポスターと概要】



イベントの概要	サイクリングの普及啓発とサイクリングターミナルの利活用の推進を図り、自転車愛好者等が南さつま市の豊かな自然を満喫するとともに、「南さつま海道八景」の雄大な自然景観等を堪能し、参加者と市民とのふれあいや交流を図るために毎年開催している。2017年度で19回目の開催。
2017年のコースと参加者	南さつま海道コース(100km) /191名 さつますんくじらコース(60km) /187名 潮風さわやかコース(25km) /47名
その他	ツール・ド・南さつま参加者と参加者の同伴者を対象に、地元特産品を使ったオードブルや、地元の7つの焼酎蔵「南さつま市焼酎七蔵」の焼酎飲み放題付きの後夜祭を開催。

② 指宿温泉MTB耐久(指宿市)

地元の有志がMTBを中心とした、サイクリングイベントを開催している。

【第7回(2017年12月開催)の様子】



イベントの概要	地元の有志が企画運営している MTB を通じた地域交流のイベント。行政の支援は受けていない。普段ロードバイクでサイクリングをしているサイクリストや大隅半島在住のサイクリストも参加している。
2017年のコースと参加者	小学生から一般までの男女が参加している。ソロやチームのコースがあり、2017年は90名前後が参加。
その他	MTBの耐久レースだけではなく、スポーツバイクの試乗会や、地元バンドの生ライブ等、来場者が楽しめるイベントとなっている。

資料) SPORTS ENTRY HP

第Ⅰ章 アンケート調査結果

1. アンケート調査の実施概要

1) 調査の目的

- ・鹿児島県大隅地域を中心とした南九州を自転車で周遊するサイクリスト等に対し、アンケート調査を実施し、周遊内容、周遊の満足度等について把握し、同地域における今後のサイクルツーリズムによる周遊促進に向けた基礎資料とすることを目的とする。

2) 調査対象者

- ・自転車によって主に鹿児島県大隅地域、薩摩地域、宮崎県県南地域を周遊する日本人観光客及び調査実施場所において施設運営に従事する者。

3) 調査方法と調査場所

- ・南九州を周遊する日本人観光客（サイクリスト）については、鹿児島県大隅地域、薩摩半島地域、宮崎県県南地域における交通結節点、観光施設、宿泊施設等において、対面調査と留置調査にて実施。また、サイクリングイベント（ツール・ド・おおすみ）参加者に対しても対面調査を実施。
- ・施設運営に従事する者については、アンケート調査実施地点の施設に協力を依頼し実施。

【調査方法と調査場所】

	調査方法	調査場所
南九州を周遊するサイクリスト向け対面調査	・調査員が施設を訪れたサイクリストに対して対面での聞き取り調査を実施し、その場で回収。 ・サイクリングイベント（ツール・ド・おおすみ）参加者に対し、調査員が対面での聞き取り調査を実施し、その場で回収。	・志布志港、垂水港、根占港、山川港、桜島港、霧島ヶ丘公園、道の駅たるみず、道の駅根占、道の駅なんごう、佐多岬展望所、コンビニエンスストア（ローソン等）、道の駅錦江にしきの里 ・ツール・ド・おおすみ昼食会場 肝付町立岸良小学校（Aコース） 錦江町立田代小学校（Bコース）
南九州を周遊するサイクリスト向け留置き調査	・施設に調査票を留置きし、施設を訪れたサイクリストが記入し、施設に保管した後、弊社にて回収。	みなと食堂、道の駅錦江にしきの里、なんたん市場、ねじめ温泉ネッピー館、かなえの湯コスモピア内之浦、高山やぶさめ館、佐多岬観光案内所、道の駅たるみず、マミーズカフェ、サイクルショップ、コンビニエンスストア、フェリーさんふらわあ（船内）、なんきゅうフェリー（船内）
施設運営従事者向け調査	・アンケート調査実施地点の施設従事者に配布、郵送にて回収。	上記の留置調査実施地点

4) 調査実施時期

<対面調査>

- ・2017年11月12日(日)、25日(土)、29日(水)、30(木) 10時～16時
- ・サイクリングイベント(ツール・ド・おおすみ)11月26日(日) 10時～16時

<留置調査>

- ・2017年10月16日(月)～2018年1月15日(月)

<施設運営従事者向け調査>

- ・2017年10月中旬～11月中旬

5) 調査項目

<南九州を周遊するサイクリスト向け調査項目>

- ・属性(性別、年齢、職業、居住地、今回の目的)
- ・南九州地区(鹿児島県と宮崎県南部)でのサイクリング回数
- ・今回のサイクリングで訪れる最終目的地
- ・今回のサイクリングでの立ち寄り場所(休憩地点)・食事をする場所
- ・今回のサイクリングで買い物をする場所
- ・今回のサイクリングの日程
- ・宿泊する人の宿泊施設とその場所(市町村名)
- ・今回のサイクリングでの消費額(予定含む)
- ・今回のサイクリングで通るルート(スタートとゴールを含めて地図上に図示)
- ・南九州地区のサイクリングに関する感想(特に良い点と悪い点)
- ・南九州地区がサイクリングの適地として魅力を高めていくために整備して欲しいこと

<施設運営従事者向け調査項目>

- ・一週間で立ち寄るサイクリストの数
- ・サイクリストが立ち寄る目的
- ・地域でサイクルツーリズムを発展させる上で必要なこと
- ・サイクリストに対する要望
- ・サイクルリングに関わることで今後取り組みたいと考えていること

6) 回収状況

- ・調査方法別の回収状況(有効回答数)は以下のとおり。

【回収状況】

調査方法	回収数	備 考
南九州を周遊するサイクリスト向け対面調査	240 件	南九州を周遊するサイクリスト 向け調査票回収数は 721 件
南九州を周遊するサイクリスト向け留置き調査	481 件	
施設運営従事者向け調査	9 件	

2. アンケート調査結果

(1) 南九州を周遊するサイクリスト向けアンケート調査結果

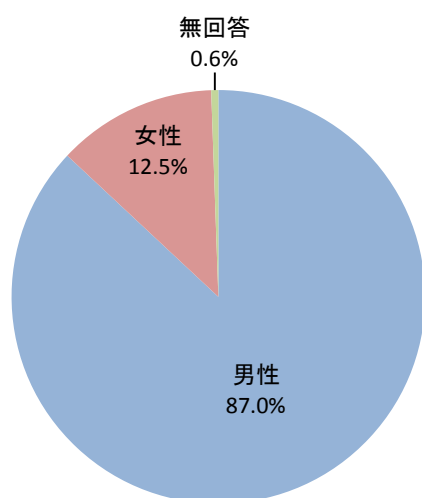
南九州を周遊するサイクリストを対象とし、対面と留置により実施した調査結果は以下のとおりとなっている。

1) 属性

① 回答者全体の属性

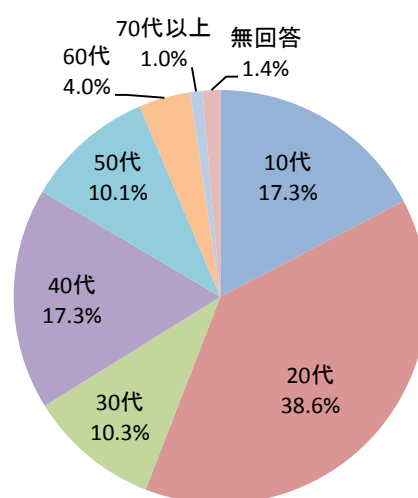
回答者全体の属性は以下のとおりとなっている。

【性別 (N=721)】



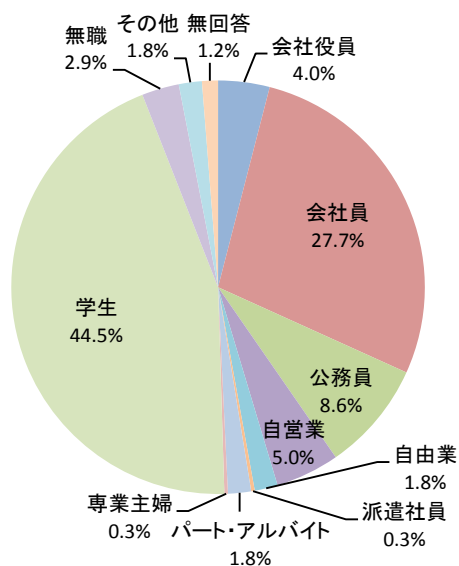
	件数	構成比
男性	627	87.0%
女性	90	12.5%
無回答	4	0.6%

【年齢 (N=721)】



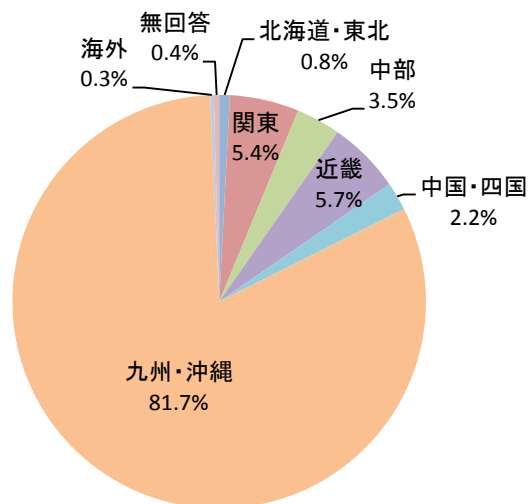
	件数	構成比
10代	125	17.3%
20代	278	38.6%
30代	74	10.3%
40代	125	17.3%
50代	73	10.1%
60代	29	4.0%
70代以上	7	1.0%
無回答	10	1.4%

【職業 (N=721)】



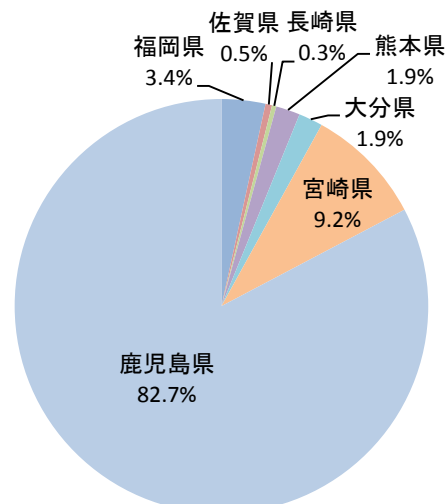
	件数	構成比
会社役員	29	4.0%
会社員	200	27.7%
公務員	62	8.6%
自営業	36	5.0%
自由業	13	1.8%
派遣社員	2	0.3%
パート・アルバイト	13	1.8%
専業主婦	2	0.3%
学生	321	44.5%
無職	21	2.9%
その他	13	1.8%
無回答	9	1.2%

【居住地（N=721）】



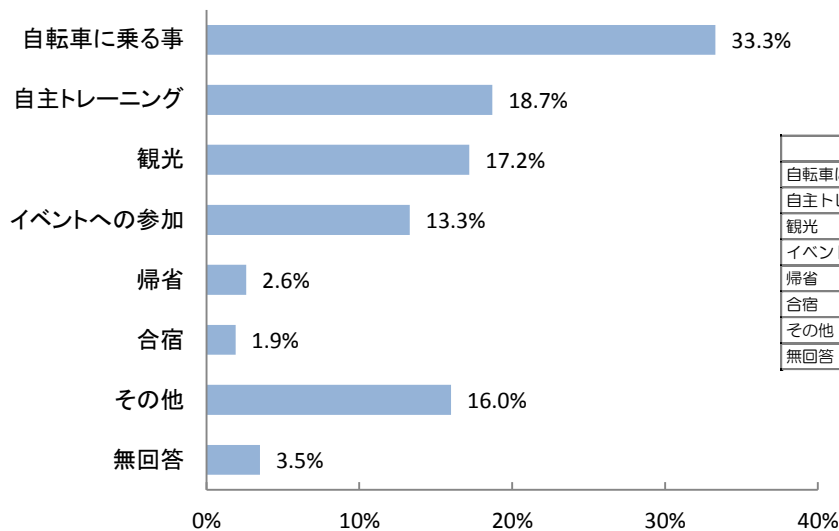
	件 数	構成比
北海道・東北	6	0.8%
関東	39	5.4%
中部	25	3.5%
近畿	41	5.7%
中国・四国	16	2.2%
九州・沖縄	589	81.7%
海外	2	0.3%
無回答	3	0.4%

【居住地：九州の内訳（N=584）】



	件 数	構成比
福岡県	20	3.4%
佐賀県	3	0.5%
長崎県	2	0.3%
熊本県	11	1.9%
大分県	11	1.9%
宮崎県	54	9.2%
鹿児島県	483	82.7%

【今回の目的（N=721 複数回答）】



	件 数	構成比
自転車に乗る事	240	33.3%
自主トレーニング	135	18.7%
観光	124	17.2%
イベントへの参加	96	13.3%
帰省	19	2.6%
合宿	14	1.9%
その他	115	16.0%
無回答	25	3.5%

「その他」の回答例

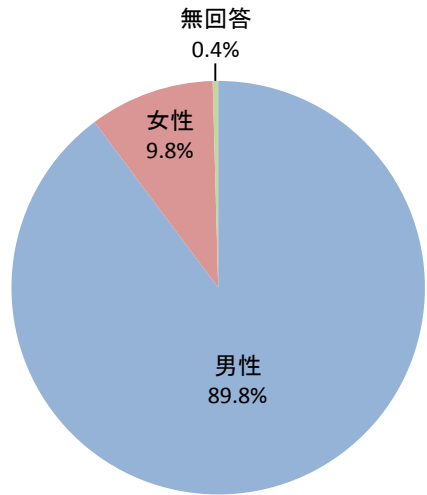
- ・気分転換
- ・健康の促進
- ・友人との交流
- ・体力作り
- ・日本一周

※なお、「自主トレーニング」と回答した人（135人）は、学生が55.6%、鹿児島県在住が79.3%、南九州地区でのサイクリングが10回目以上の人が43.7%となっていた。

②県外居住者の属性

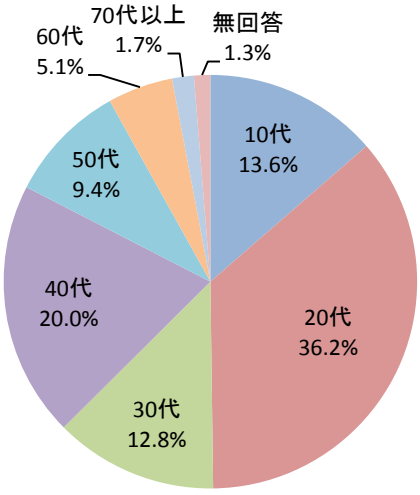
回答者のうち、県外居住者の属性は以下のとおりとなっている。

【性別（N=235）】



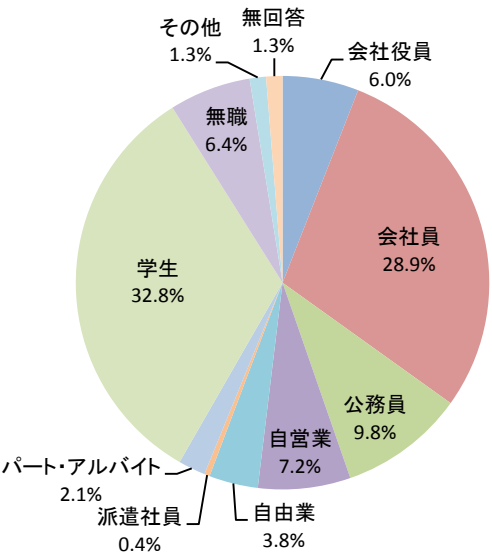
	件 数	構成比
男性	211	89.8%
女性	23	9.8%
無回答	1	0.4%

【年齢（N=235）】



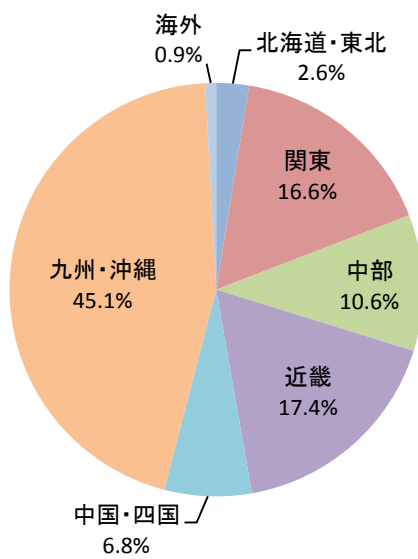
	件 数	構成比
10代	32	13.6%
20代	85	36.2%
30代	30	12.8%
40代	47	20.0%
50代	22	9.4%
60代	12	5.1%
70代以上	4	1.7%
無回答	3	1.3%

【職業（N=235）】



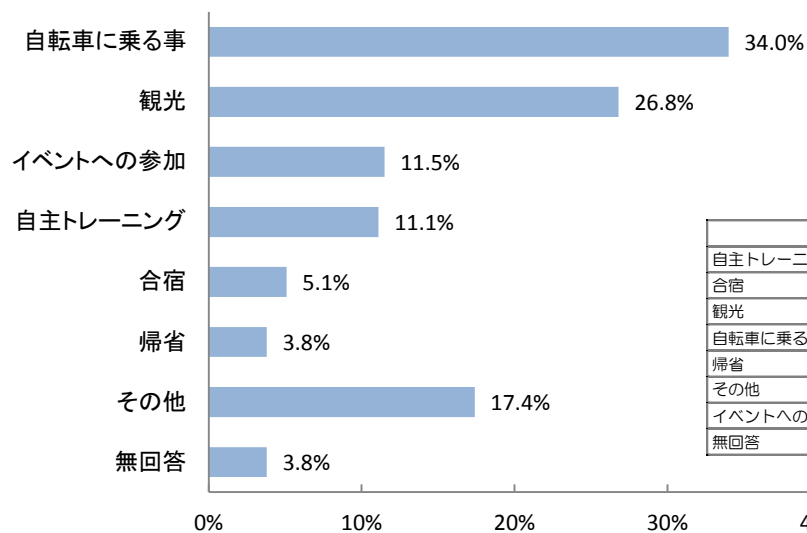
	件 数	構成比
会社役員	14	6.0%
会社員	68	28.9%
公務員	23	9.8%
自営業	17	7.2%
自由業	9	3.8%
派遣社員	1	0.4%
パート・アルバイト	5	2.1%
学生	77	32.8%
無職	15	6.4%
その他	3	1.3%
無回答	3	1.3%

【居住地（N=235）】



	件 数	構成比
北海道・東北	6	2.6%
関東	39	16.6%
中部	25	10.6%
近畿	41	17.4%
中国・四国	16	6.8%
九州・沖縄	106	45.1%
海外	2	0.9%

【今回の目的（N=235 複数回答）】



	件 数	構成比
自主トレーニング	26	11.1
合宿	12	5.1
観光	63	26.8
自転車に乗る事	80	34.0
帰省	9	3.8
その他	41	17.4
イベントへの参加	27	11.5
無回答	9	3.8

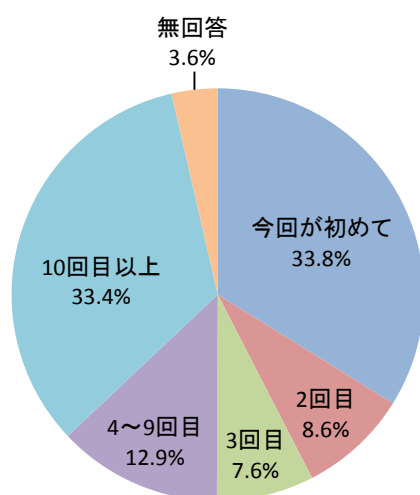
2) 調査結果

①大隅地域を中心とした南九州地区（鹿児島県と宮崎県南部）でのサイクリング回数

南九州地区でのサイクリング回数については、「今回が初めて」が 33.8%で最も多く、次いで「10 回目以上」（33.4%）、「4～9 回目」（12.9%）となっている。

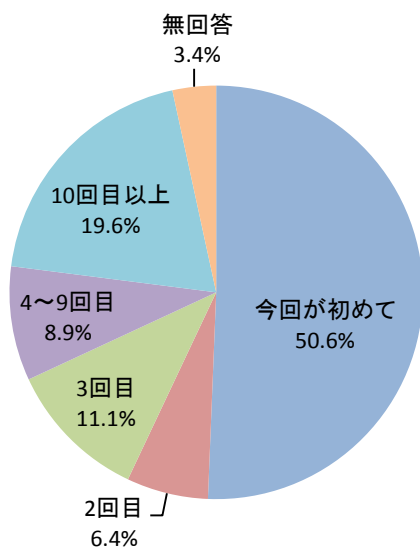
県外居住者における南九州地区でのサイクリング回数は、「今回が初めて」が 50.6%で最も多く、次いで「10 回目以上」（19.6%）、「3 回目」（11.1%）となっている。

【南九州地区でのサイクリング回数（N=721）】



	件 数	構成比
今回が初めて	244	33.8%
2回目	62	8.6%
3回目	55	7.6%
4～9回目	93	12.9%
10回目以上	241	33.4%
無回答	26	3.6%

【県外居住者における南九州地区でのサイクリング回数（N=235）】



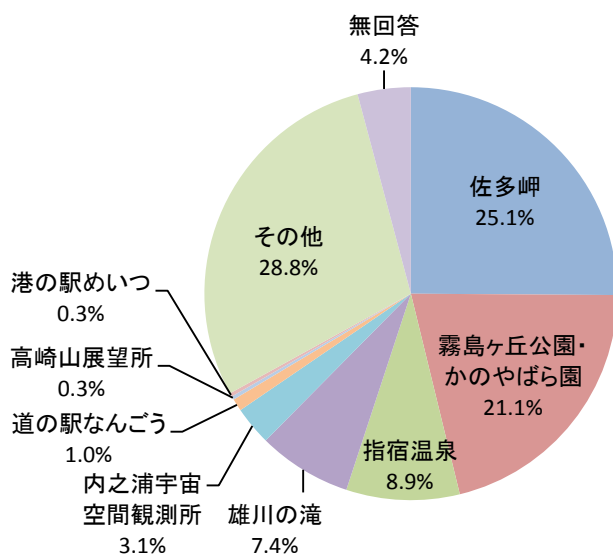
	件 数	構成比
今回が初めて	119	50.6%
2回目	15	6.4%
3回目	26	11.1%
4～9回目	21	8.9%
10回目以上	46	19.6%
無回答	8	3.4%

②今回のサイクリングで訪れる最終目的地

今回のサイクリングで訪れる最終目的地については、「佐多岬」が25.1%で最も多く、次いで「霧島ヶ丘公園・かのやばら園」(21.1%)、「指宿温泉」(8.9%)、「雄川の滝」(7.4%)となっている。

県外居住者における今回のサイクリングで訪れる最終目的地については、「佐多岬」が33.6%で最も多く、次いで「霧島ヶ丘公園・かのやばら園」(14.0%)、「指宿温泉」(9.4%)となっている。

【今回のサイクリングで訪れる最終目的地 (N=721)】

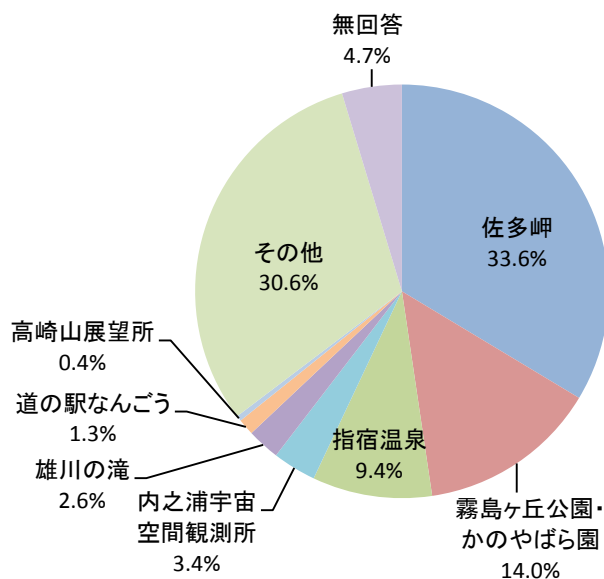


	件 数	構成比
佐多岬	181	25.1%
霧島ヶ丘公園・かのやばら園	152	21.1%
指宿温泉	64	8.9%
雄川の滝	53	7.4%
内之浦宇宙空間観測所	22	3.1%
道の駅なんごう	7	1.0%
高崎山展望所	2	0.3%
港の駅めいつ	2	0.3%
その他	208	28.8%
無回答	30	4.2%

「その他」の回答例

- ・錦江湾一周
- ・日本一周
- ・桜島
- ・マミーズカフェ
- ・垂水千本イチョウ
- ・道の駅たるみず
- ・知覧・南薩
- ・みなと食堂

【県外居住者における今回のサイクリングで訪れる最終目的地 (N=235)】



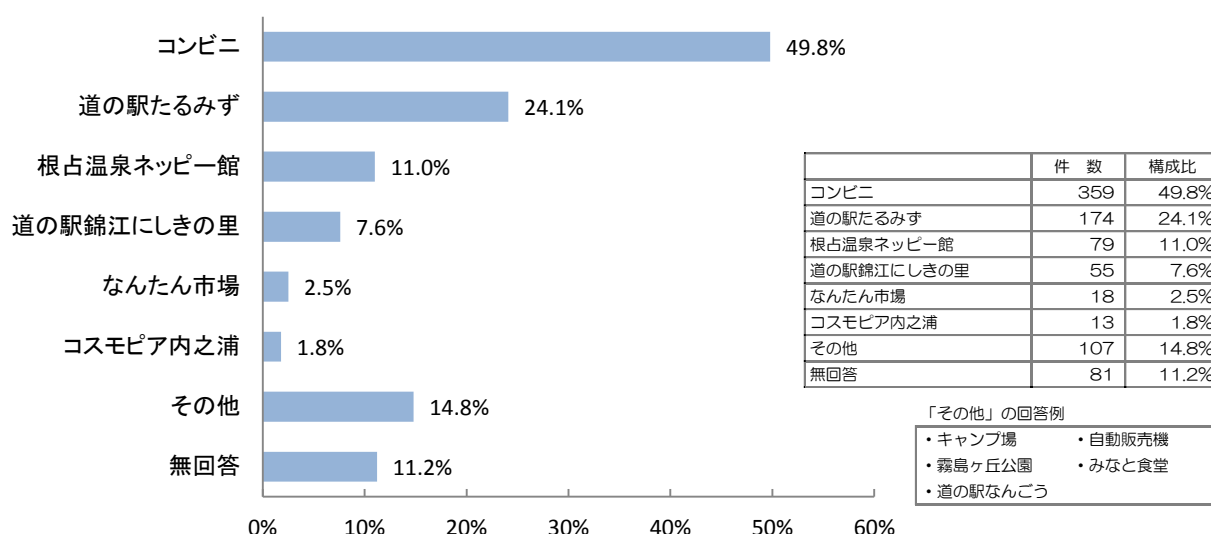
	件 数	構成比
佐多岬	79	33.6%
霧島ヶ丘公園・かのやばら園	33	14.0%
指宿温泉	22	9.4%
内之浦宇宙空間観測所	8	3.4%
雄川の滝	6	2.6%
道の駅なんごう	3	1.3%
高崎山展望所	1	0.4%
その他	72	30.6%
無回答	11	4.7%

③今回のサイクリングでの立ち寄り場所（休憩地点）

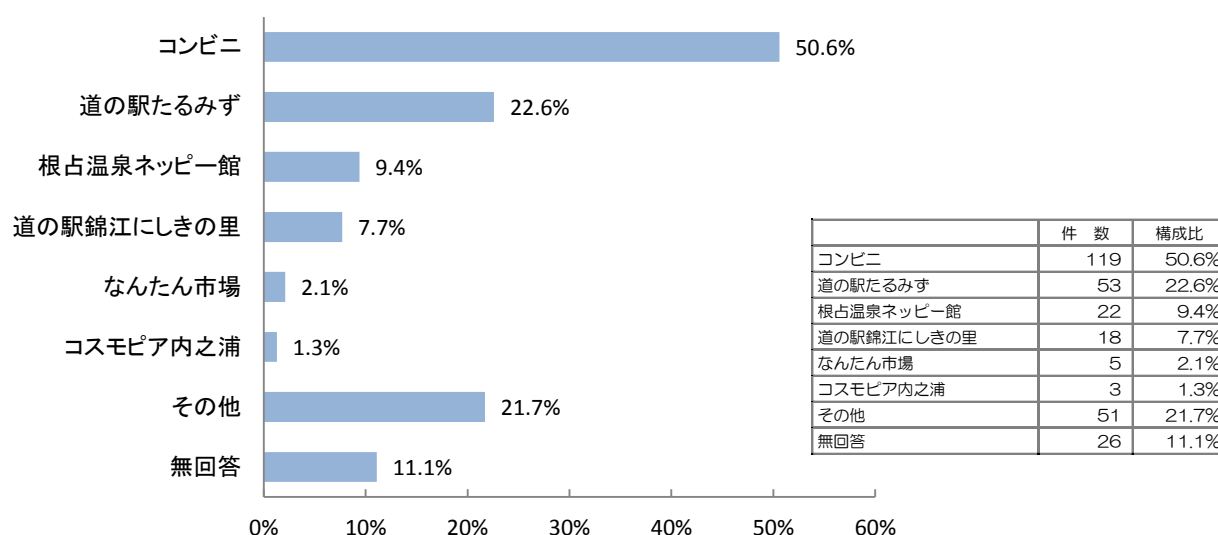
今回のサイクリングで立ち寄る場所（休憩地点）については、「コンビニ」が49.8%で最も多く、次いで「道の駅たるみず」（24.1%）、「根占温泉ネッピー館」（11.0%）となっている。

県外居住者における今回のサイクリングで立ち寄る場所（休憩地点）については、「コンビニ」が50.6%で最も多く、次いで「道の駅たるみず」（22.6%）、「根占温泉ネッピー館」（9.4%）となっている。

【今回のサイクリングでの立ち寄り場所（N=721 複数回答）】



【県外居住者における今回のサイクリングでの立ち寄り場所（N=235 複数回答）】

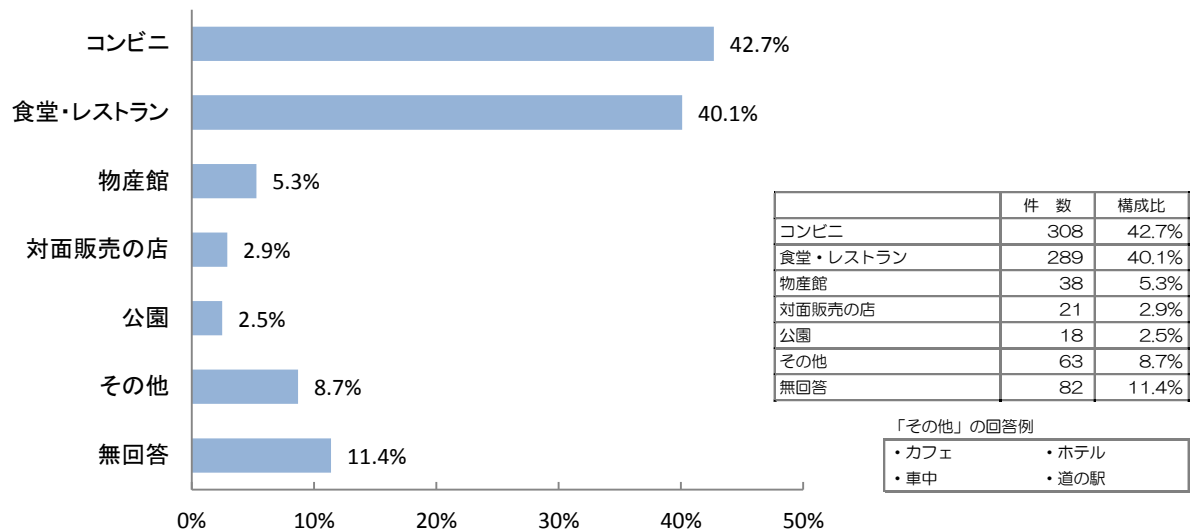


④今回のサイクリングで食事をする場所

今回のサイクリングで食事をする場所については、「コンビニ」が42.7%で最も多く、次いで「食堂・レストラン」(40.1%)となっている。

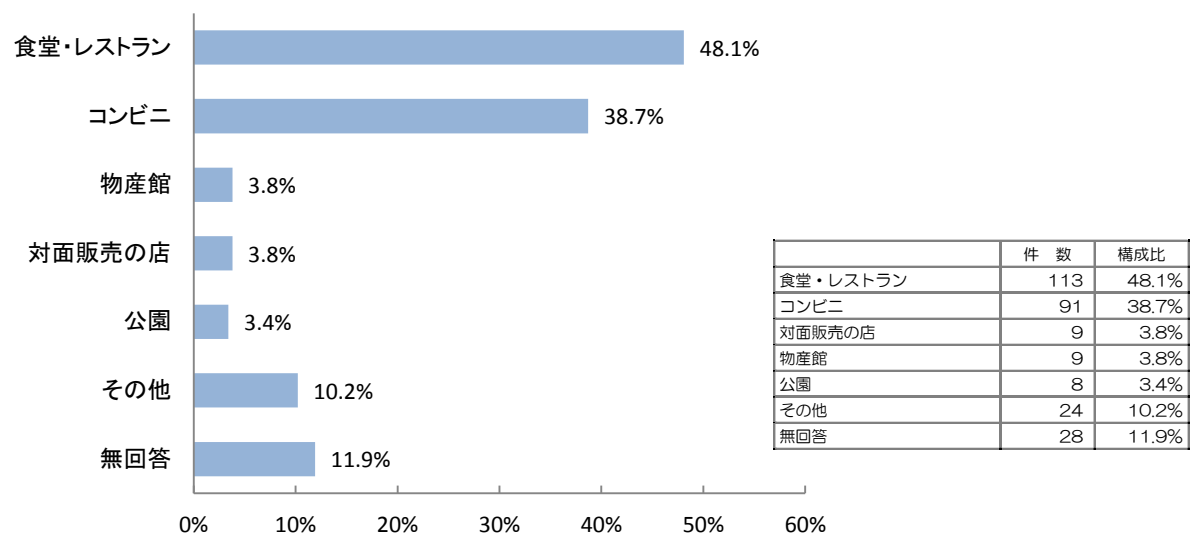
県外居住者における今回のサイクリングで食事をする場所については、「食堂・レストラン」が48.1%で最も多く、次いで「コンビニ」(38.7%)となっている。

【今回のサイクリングで食事をする場所（N=721 複数回答）】



※選択肢に「対面販売の店」を入れたのは、サイクリストへのヒアリングを通してサイクリストが立ち寄りやすい、との声があったため。

【県外居住者における今回のサイクリングで食事をする場所（N=235 複数回答）】

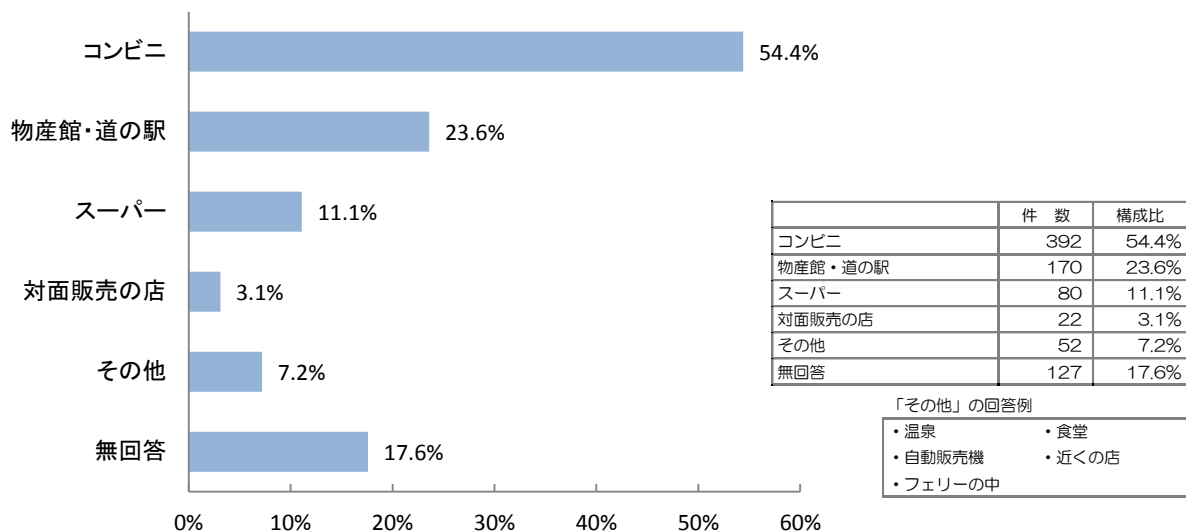


⑤今回のサイクリングで買い物をする場所

今回のサイクリングで買い物をする場所については、「コンビニ」が54.4%で最も多く、次いで「物産館・道の駅」(23.6%)、「スーパー」(11.1%)となっている。

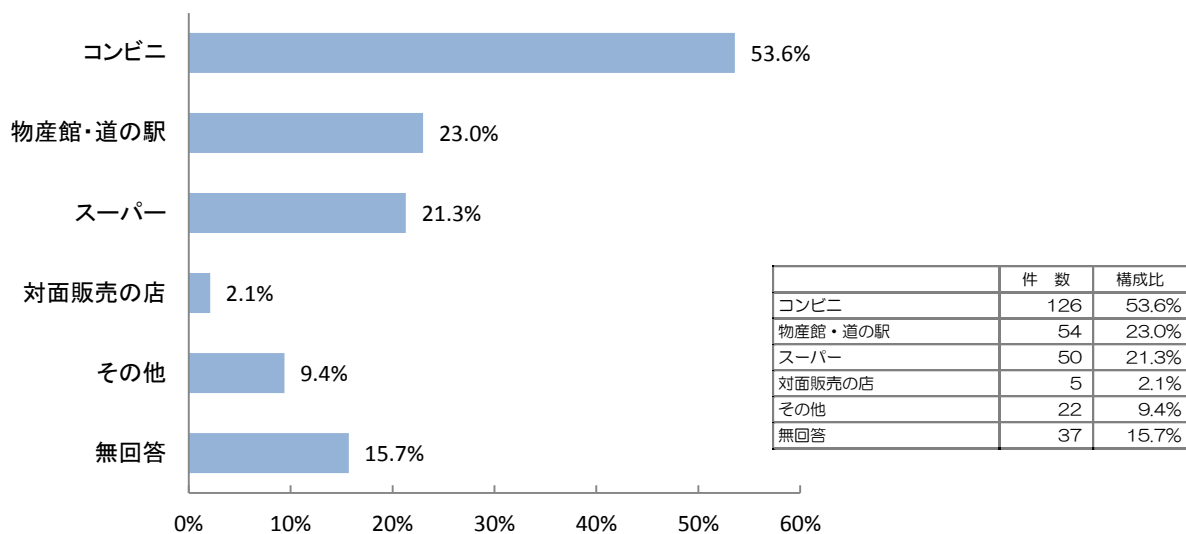
県外居住者における今回のサイクリングで買い物をする場所については、「コンビニ」が53.6%で最も多く、次いで「物産館・道の駅」(23.0%)、「スーパー」(21.3%)となっている。

【今回のサイクリングで買い物をする場所 (N=721 複数回答)】



※選択肢に「対面販売の店」を入れたのは、サイクリストへのヒアリングを通してサイクリストが立ち寄りやすい、との声があったため。

【県外居住者における今回のサイクリングで買い物をする場所 (N=235 複数回答)】



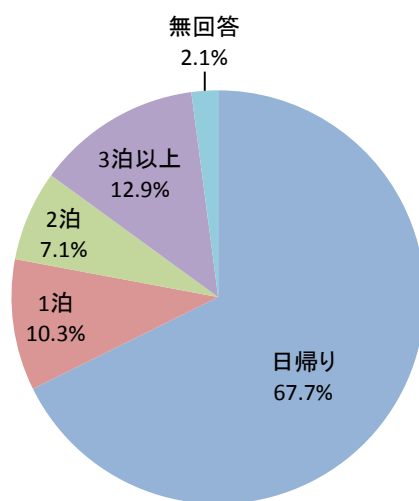
⑥今回のサイクリングの日程

今回のサイクリングの日程については、「日帰り」が67.7%で6割以上を占め最も多く、次いで「3泊以上」(12.9%)、「1泊」(10.3%)となっている。

県外居住者における今回のサイクリングの日程については、「日帰り」が33.2%で最も多く、次いで「3泊以上」(31.5%)、「1泊」(18.7%)となっている。

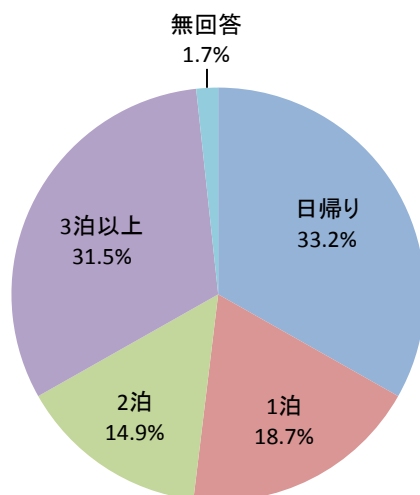
※なお、サイクリストは宿泊先を決める際「先に宿泊先を決めて行く」ケースと「周遊した結果、近くで探して決める」ケースの両方がある。

【今回のサイクリングの日程 (N=721)】



	件 数	構成比
日帰り	488	67.7%
1泊	74	10.3%
2泊	51	7.1%
3泊以上	93	12.9%
無回答	15	2.1%

【県外居住者における今回のサイクリングの日程 (N=235)】



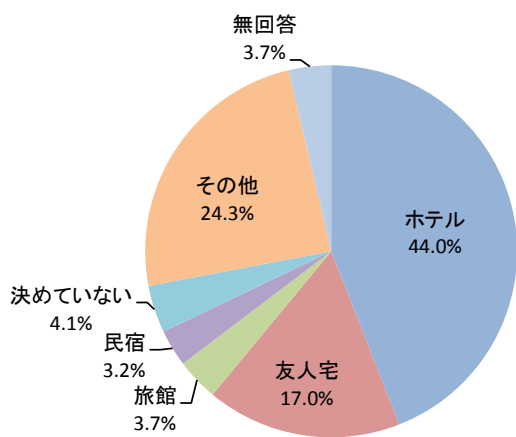
	件 数	構成比
日帰り	78	33.2%
1泊	44	18.7%
2泊	35	14.9%
3泊以上	74	31.5%
無回答	4	1.7%

⑦宿泊施設と宿泊地の市町名

今回のサイクリングで1泊以上する人が1泊目に利用する宿泊施設は、「ホテル」が44.0%で最も多く、次いで「友人宅」(17.0%)となっている。「その他」の中にはキャンプ場や公園での野宿、車中泊等の回答がみられている(宿泊施設については、以下同様)。宿泊した市町名は、「鹿屋市」が49.1%で最も多く、次いで「鹿児島市」(9.6%)、「指宿市」(5.5%)となっている。

県外居住者における今回のサイクリングで1泊以上する人が1泊目に利用する宿泊施設は、「ホテル」が46.4%で最も多く、次いで「友人宅」(15.7%)となっている。宿泊した市町名は、「鹿屋市」が52.3%で最も多く、次いで「鹿児島市」(11.8%)となっている。

【1泊目の宿泊施設 (N=218)】

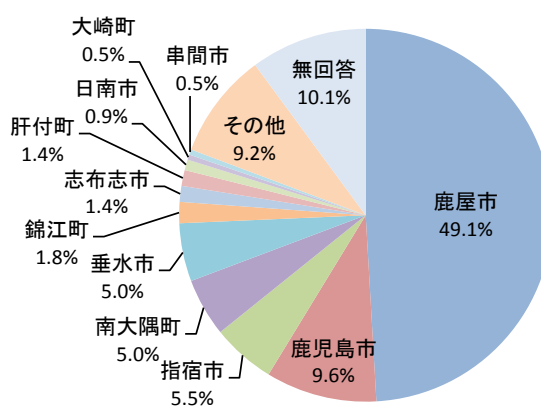


	件数	構成比
ホテル	96	44.0%
旅館	8	3.7%
民宿	7	3.2%
友人宅	37	17.0%
決めていない	9	4.1%
その他	53	24.3%
無回答	8	3.7%

「その他」の回答例

- ・キャンプ場
- ・公園
- ・車中
- ・道の駅
- ・大学合宿所
- ・野宿
- ・フェリー内

【1泊目の宿泊地市町名 (N=218)】

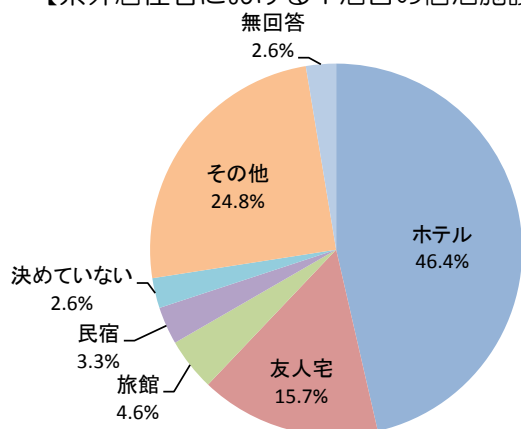


	件数	構成比
鹿屋市	107	49.1%
鹿児島市	21	9.6%
指宿市	12	5.5%
垂水市	11	5.0%
南大隅町	11	5.0%
錦江町	4	1.8%
志布志市	3	1.4%
肝付町	3	1.4%
大崎町	1	0.5%
串間市	1	0.5%
日南市	2	0.9%
その他	20	9.2%
無回答	22	10.1%

「その他」の回答例

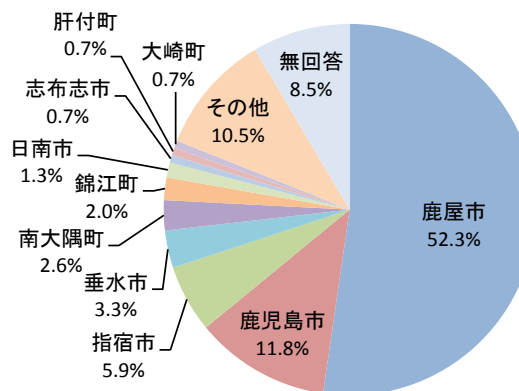
- ・鹿児島県霧島市
- ・鹿児島県薩摩川内市
- ・鹿児島県南さつま市
- ・フェリー内

【県外居住者における1泊目の宿泊施設と宿泊市町名 (N=153)】



	件数	構成比
ホテル	71	46.4%
友人宅	24	15.7%
旅館	7	4.6%
民宿	5	3.3%
決めていない	4	2.6%
その他	38	24.8%
無回答	4	2.6%

	件数	構成比
ホテル	71	46.4%
友人宅	24	15.7%
旅館	7	4.6%
民宿	5	3.3%
決めていない	4	2.6%
その他	38	24.8%
無回答	4	2.6%



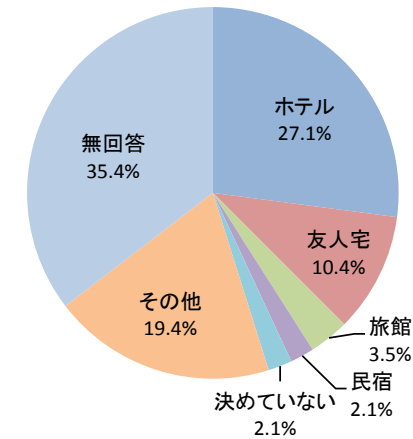
	件数	構成比
鹿屋市	80	52.3%
鹿児島市	18	11.8%
指宿市	9	5.9%
垂水市	5	3.3%
南大隅町	4	2.6%
錦江町	3	2.0%
志布志市	1	0.7%
肝付町	1	0.7%
大崎町	1	0.7%
串間市	1	0.7%
日南市	2	1.3%
その他	16	10.5%
無回答	13	8.5%

	件数	構成比
鹿屋市	80	52.3%
鹿児島市	18	11.8%
指宿市	9	5.9%
垂水市	5	3.3%
南大隅町	4	2.6%
錦江町	3	2.0%
志布志市	1	0.7%
肝付町	1	0.7%
大崎町	1	0.7%
串間市	1	0.7%
日南市	2	1.3%
その他	16	10.5%
無回答	13	8.5%

今回のサイクリングで2泊以上する人が2泊目に利用する宿泊施設は、「ホテル」が27.1%で最も多く、次いで「友人宅」(10.4%)となっている。宿泊した市町名は、「鹿屋市」が27.8%で最も多く、次いで「南大隅町」(9.0%)となっている。

県外居住者における今回のサイクリングで2泊以上する人が2泊目に利用する宿泊施設は、「ホテル」が25.7%で最も多く、次いで「友人宅」(12.8%)となっている。宿泊した市町名は、「鹿屋市」が33.0%で最も多く、次いで「南大隅町」(7.3%)となっている。

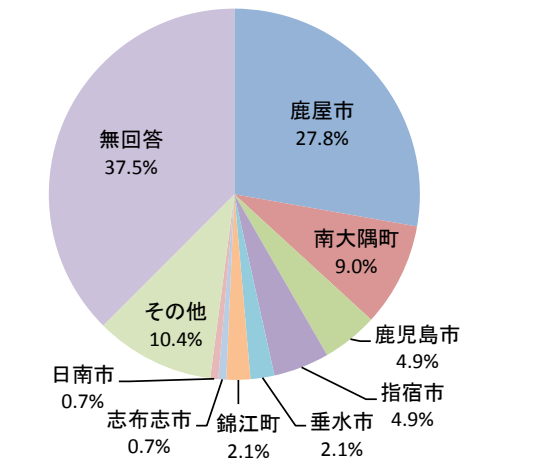
【2泊目の宿泊施設 (N=144)】



件数	構成比
ホテル	39 27.1%
友人宅	15 10.4%
旅館	5 3.5%
民宿	3 2.1%
決めていない	3 2.1%
その他	28 19.4%
無回答	51 35.4%

「その他」の回答例
 ・合宿研修所
 ・キャンプ場
 ・野宿
 ・道の駅

【2泊目の宿泊地市町名 (N=144)】

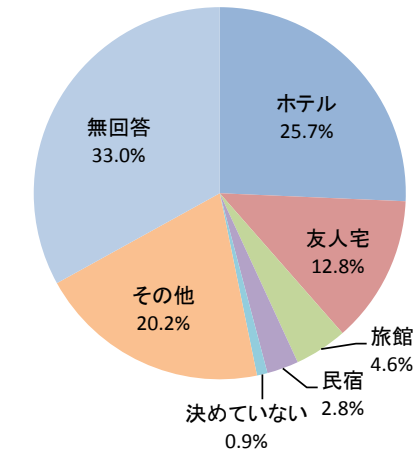


市町名	件数	構成比
鹿児島市	40	27.8%
南大隅町	13	9.0%
鹿児島市	7	4.9%
指宿市	7	4.9%
垂水市	3	2.1%
錦江町	3	2.1%
志布志市	1	0.7%
日南市	1	0.7%
その他	15	10.4%
無回答	54	37.5%

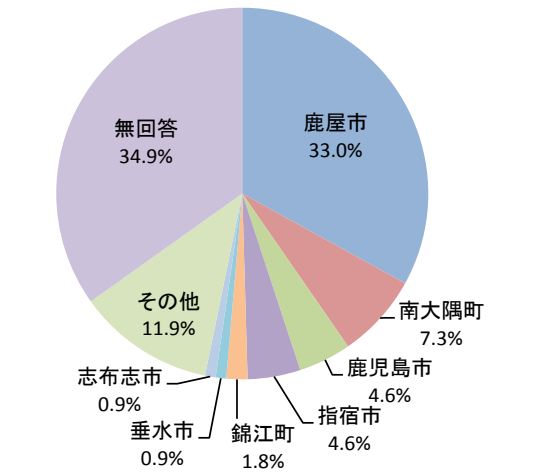
「その他」の回答例
 ・愛媛県今治市
 ・愛媛県松山市
 ・宮崎県都城市
 ・鹿児島県霧島市

※無回答が多いのは、1泊目と同じであったために記入しなかったか、「決めていない」と混同したため記入しなかったから、と推定される。

【県外居住者における2泊目の宿泊施設と宿泊市町名 (N=109)】



件数	構成比
ホテル	28 25.7%
友人宅	14 12.8%
旅館	5 4.6%
民宿	3 2.8%
決めていない	1 0.9%
その他	22 20.2%
無回答	36 33.0%

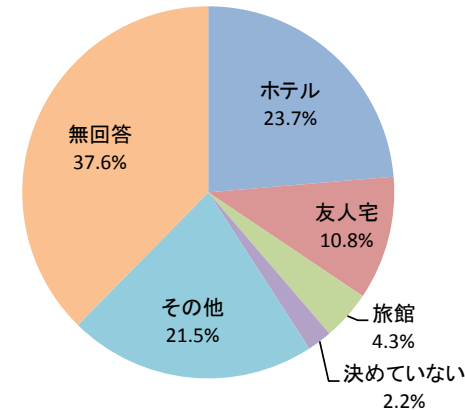


市町名	件数	構成比
鹿児島市	36	33.0%
南大隅町	8	7.3%
鹿児島市	5	4.6%
指宿市	5	4.6%
垂水市	1	0.9%
錦江町	2	1.8%
志布志市	1	0.9%
日南市	1	0.9%
その他	13	11.9%
無回答	38	34.9%

今回のサイクリングで3泊以上する人が3泊目に利用する宿泊施設は、「ホテル」が23.7%で最も多く、次いで「友人宅」(10.8%)となっている。宿泊した市町名は、「鹿屋市」が30.1%で最も多く、次いで「南大隅町」(8.6%)となっている。

県外居住者における今回のサイクリングで3泊以上する人が3泊目に利用する宿泊施設は、「ホテル」が20.3%で最も多く、次いで「友人宅」(12.2%)となっている。宿泊した市町名は、「鹿屋市」が32.4%で最も多く、次いで「指宿市」(5.4%)となっている。

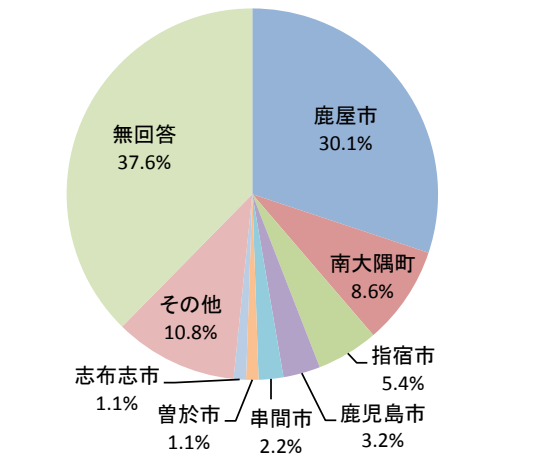
【3泊目の宿泊施設 (N=93)】



	件数	構成比
ホテル	22	23.7%
友人宅	10	10.8%
旅館	4	4.3%
決めていない	2	2.2%
その他	20	21.5%
無回答	35	37.6%

「その他」の回答例
 ・合宿研修所
 ・キャンプ場
 ・道の駅

【3泊目の宿泊地市町名 (N=93)】

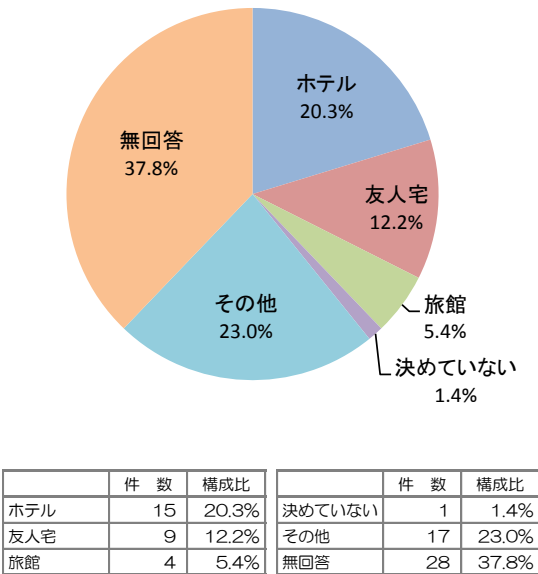


	件数	構成比
鹿屋市	28	30.1%
南大隅町	8	8.6%
指宿市	5	5.4%
鹿児島市	3	3.2%
志布志市	1	1.1%
曾於市	1	1.1%
串間市	2	2.2%
その他	10	10.8%
無回答	35	37.6%

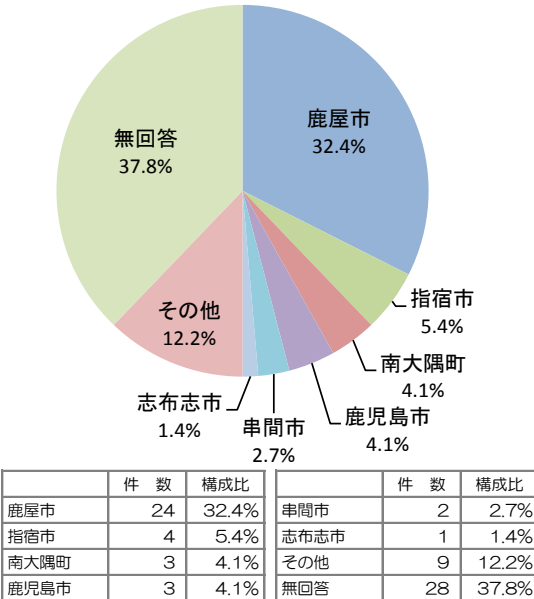
「その他」の回答例
 ・広島県尾道市
 ・鹿児島県霧島市
 ・熊本県阿蘇市
 ・鹿児島県屋久島

※無回答が多いのは、1泊目と同じであったために記入しなかったか、「決めていない」と混同したため記入しなかったから、と推定される。

【県外居住者における3泊目の宿泊施設と宿泊市町名 (N=74)】



	件数	構成比
ホテル	15	20.3%
友人宅	9	12.2%
旅館	4	5.4%
決めていない	1	1.4%
その他	17	23.0%
無回答	28	37.8%



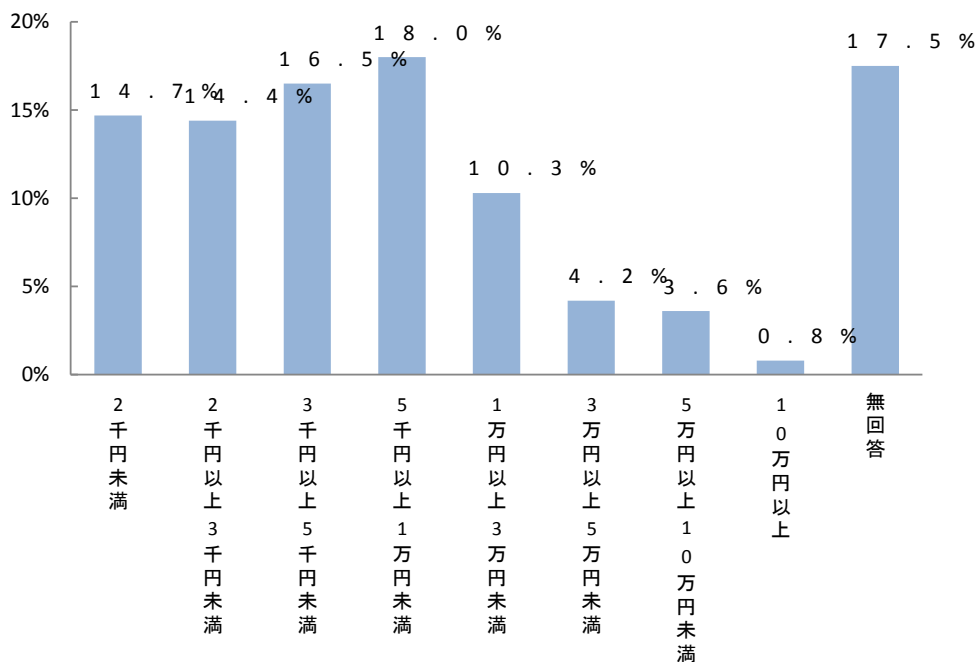
	件数	構成比
鹿屋市	24	32.4%
指宿市	4	5.4%
南大隅町	3	4.1%
鹿児島市	3	4.1%
志布志市	1	1.4%
串間市	2	2.7%
その他	9	12.2%
無回答	28	37.8%

⑧今回のサイクリングでの消費額

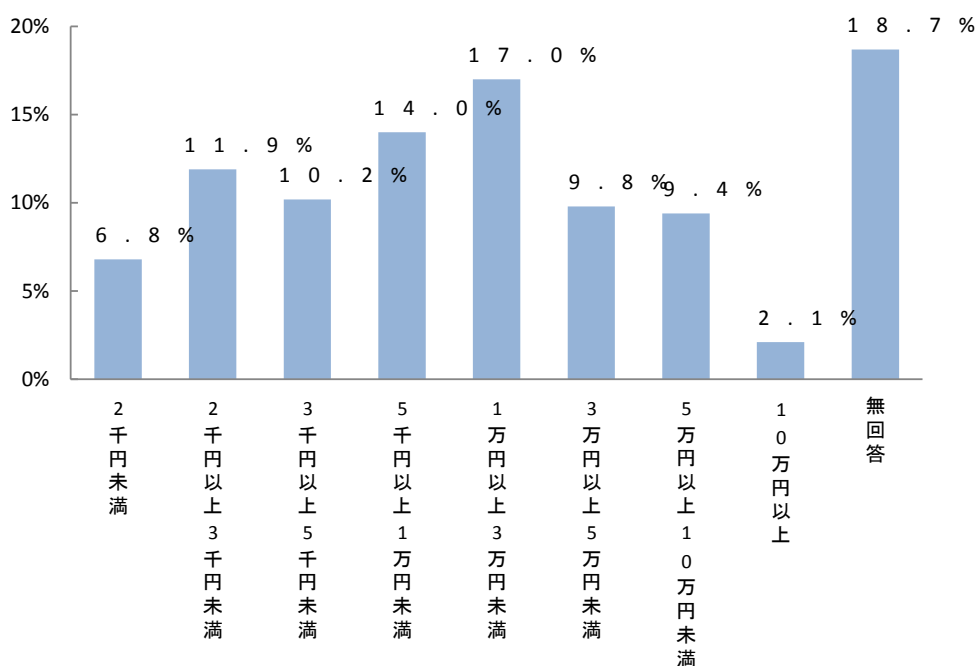
今回のサイクリングでの消費額については、「5 千円以上 1 万円未満」が 18.0%で最も多く、次いで「3 千円以上 5 千円未満」が 16.5%となっている。なお、平均消費額は 9.4 千円であった。

県外居住者における今回のサイクリングでの消費額については、「1 万円以上 3 万円未満」が 17.0%で最も多く、次いで「5 千円以上 1 万円未満」が 14.0%となっている。なお、平均消費額は 18.8 千円であった。

【今回のサイクリングでの消費額 (N=721)】



【県外居住者における今回のサイクリングでの消費額 (N=235)】



年代別消費額

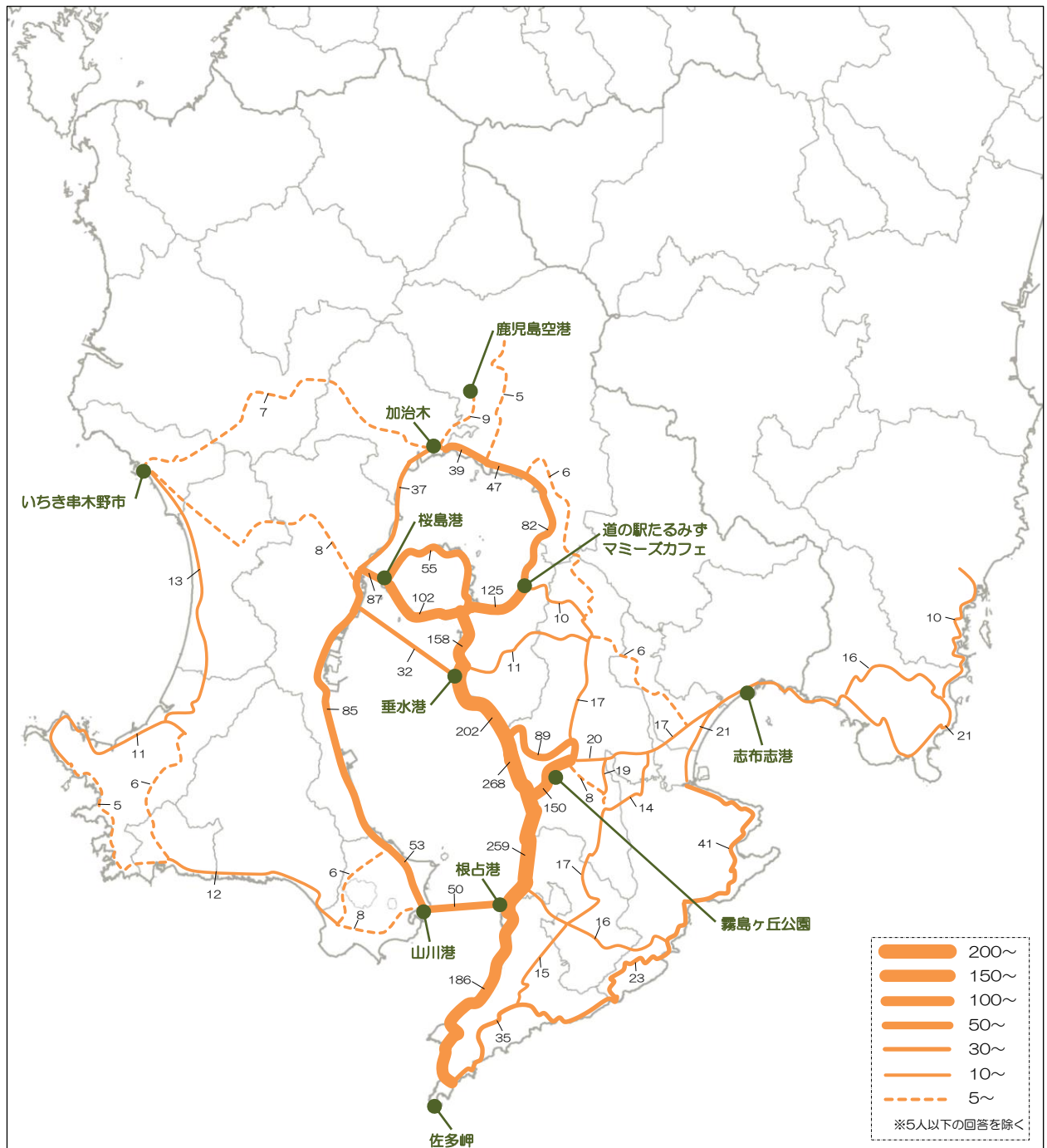
	全体		10代		20代		30代	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
2千円未満	106	14.7%	21	16.8%	28	10.1%	9	12.2%
2千円以上3千円未満	104	14.4%	19	15.2%	40	14.4%	13	17.6%
3千円以上5千円未満	119	16.5%	23	18.4%	46	16.5%	10	13.5%
5千円以上1万円未満	130	18.0%	26	20.8%	68	24.5%	8	10.8%
1万円以上3万円未満	74	10.3%	7	5.6%	38	13.7%	9	12.2%
3万円以上5万円未満	30	4.2%	1	0.8%	12	4.3%	6	8.1%
5万円以上10万円未満	26	3.6%	3	2.4%	9	3.2%	1	1.4%
10万円以上	6	0.8%	1	0.8%	1	0.4%	-	-
無回答	126	17.5%	24	19.2%	36	12.9%	18	24.3%

	40代		50代		60代		70代以上		無回答	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
2千円未満	20	16.0%	17	23.3%	6	20.7%	2	28.6%	3	30.0%
2千円以上3千円未満	17	13.6%	11	15.1%	3	10.3%	-	-	1	10.0%
3千円以上5千円未満	26	20.8%	9	12.3%	4	13.8%	-	-	1	10.0%
5千円以上1万円未満	19	15.2%	6	8.2%	3	10.3%	-	-	-	-
1万円以上3万円未満	8	6.4%	10	13.7%	1	3.4%	-	-	1	10.0%
3万円以上5万円未満	5	4.0%	3	4.1%	2	6.9%	1	14.3%	-	-
5万円以上10万円未満	6	4.8%	5	6.8%	-	-	2	28.6%	-	-
10万円以上	2	1.6%	-	-	1	3.4%	1	14.3%	-	-
無回答	22	17.6%	12	16.4%	9	31.0%	1	14.3%	4	40.0%

⑨今回のサイクリングで通ったルート

今回サイクリストが通ったルートを線の太さにて表現した。線が太いルートほど走行したサイクリストが多いことを表現しており、錦江湾沿岸のルートや海上交通網を利用したルートが好まれていることがわかる。

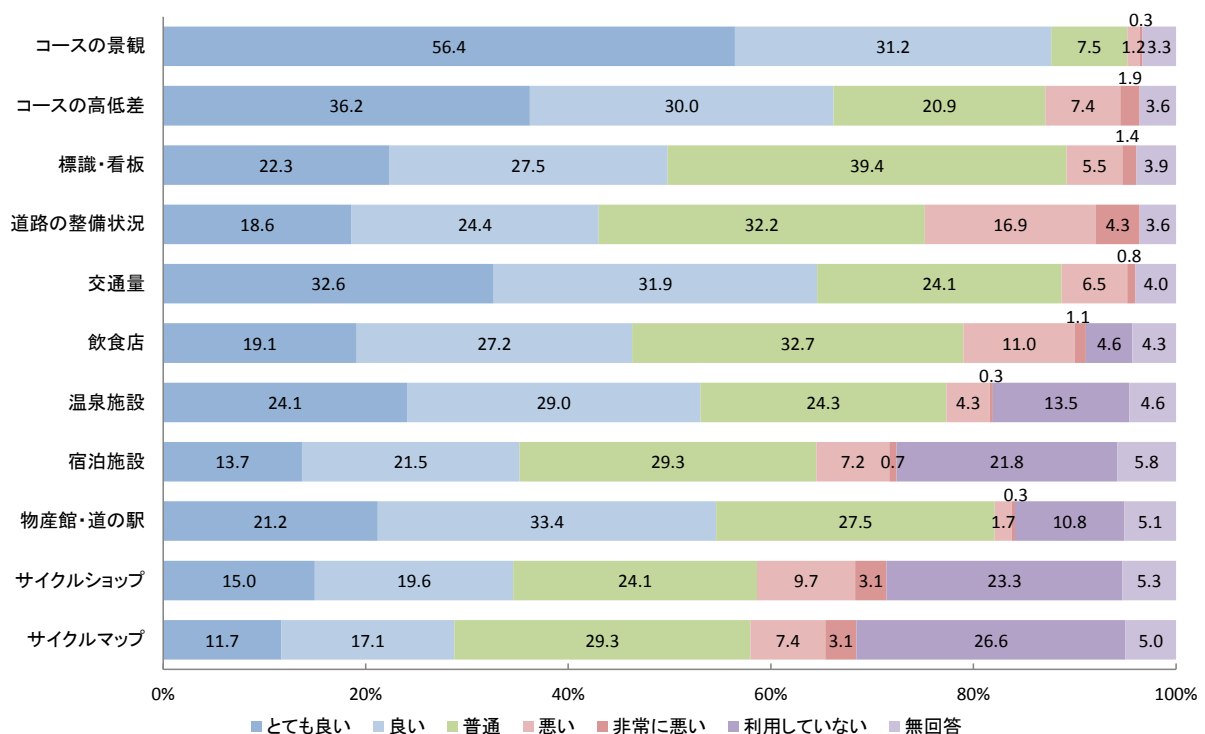
【サイクリストが通過したルート】



⑩南九州地区のサイクリングに関する感想

南九州地区(鹿児島県と宮崎県南部)のサイクリングに関する感想について、「とても良い」と「良い」の合計をみると、「コースの景観」が87.6%で最も高く、次いで「コースの高低差」(66.2%)、「交通量」(64.5%)となっている。良い点として、「景観(海や桜島)が素晴らしい。アップダウンがトレーニングに最適。交通量が少なく走りやすい」などが挙げられている。その一方で、「悪い」と「非常に悪い」の合計をみると、「道路の整備状況」が21.2%で他の項目に比べて高くなっている。悪い点として、「道路が狭く、デコボコしている。道路に雑草が多い」などが挙げられている。

【南九州地区のサイクリングに関する感想 (N=721)】



【良い点】

コースの景観

- ・景観(海や桜島)が素晴らしい(多数)

コースの高低差

- ・アップダウンがトレーニングに最適

交通量

- ・交通量が少なく走りやすい

飲食店

- ・食べ物新鮮でおいしい

温泉施設

- ・温泉が安い

その他

- ・人が親切 など

【悪い点】

標識・看板

- ・初めて来た人や土地勘のない人には道がわかりづらい
- ・ブルーライン、標識等が整備されていない

道路の整備状況

- ・道が狭く、デコボコしている
- ・道路に雑草が多い
- ・街灯が少なく、夜は本当に暗い

飲食店・サイクルショップ

- ・サイクルショップやコンビニ、休憩できる施設が少ない
- ・トラブル時の施設が少ない

宿泊施設

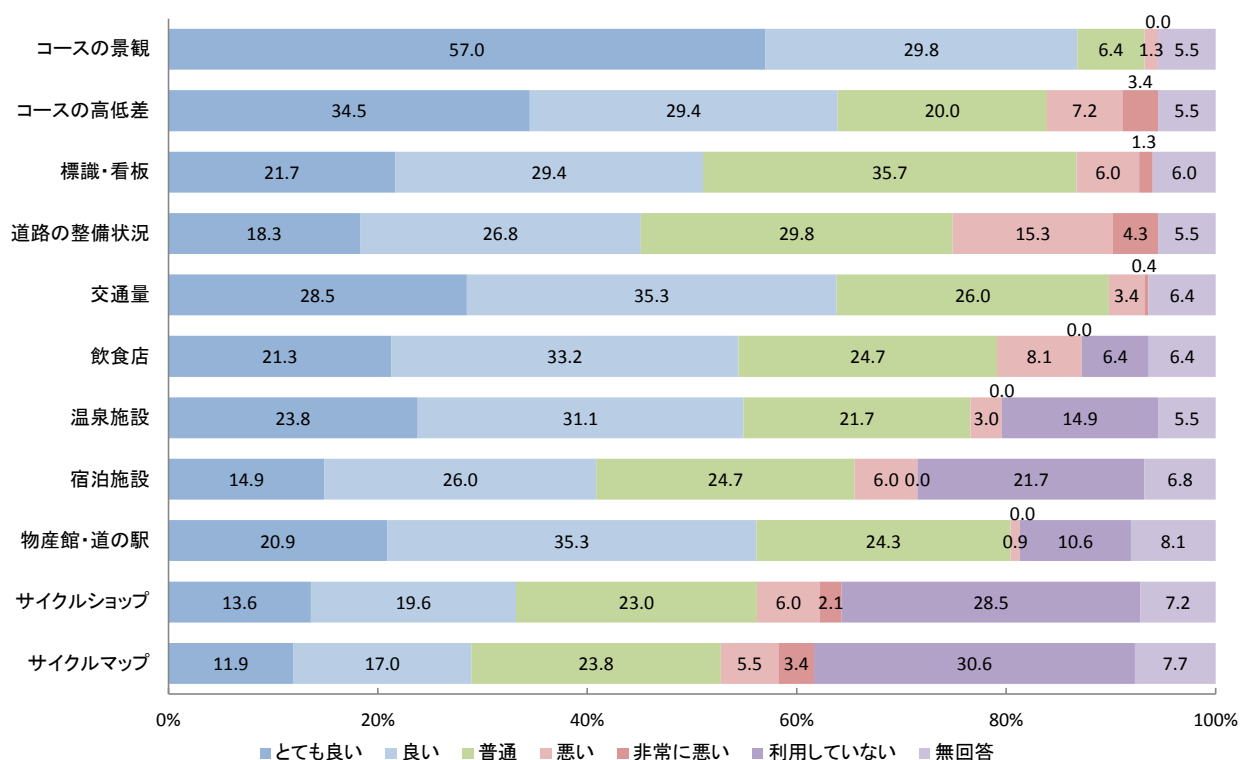
- ・宿泊施設が少ない

その他

- ・自転車競技のメッカなのに、一般のサイクリスト向けのPRをしていない など

県外居住者における南九州地区（鹿児島県と宮崎県南部）のサイクリングに関する感想について、「とても良い」と「良い」の合計をみると、「コースの景観」が86.8%で最も高く、次いで「コースの高低差」（63.9%）、「交通量」（63.8%）となっている。その一方で、「悪い」と「非常に悪い」の合計をみると、「道路の整備状況」が19.6%で他の項目に比べて高くなっている。

【県外居住者の南九州地区のサイクリングに関する感想（N=235）】



- ⑪南九州地区がサイクリングの適地としてさらに魅力を高めていくために整備して欲しいこと
- 南九州地区がサイクリングの適地として、さらに魅力を高めていくために整備して欲しいこととして、以下のようなことなどが挙げられている。

【南九州地区がサイクリングの適地としてさらに魅力を高めていくために整備して欲しいこと】

標識・看板

- ・ブルーラインの整備

施設の整備

- ・コンビニや公共施設にパンク修理セットの設置
- ・40km間隔程度での入浴施設・野営施設の設置
- ・サイクルラックの整備
- ・タイヤチューブの自動販売機

サイクルマップ

- ・サイクルマップ（コース毎に高低差、距離、飲食店情報）の整備
- ・交通結節点等におけるサイクルマップの配布

イベント

- ・多くのイベント、ツアーの開催
- ・観光地やコンビニと連携したポイントラリー
- ・南さつま市と大隅を結んだ広域なイベントの開催

PR

- ・一般サイクリスト向けのPR
- ・サイクリストの聖地となるスポットの設置

その他

- ・トラブル時のピックアップサービス など

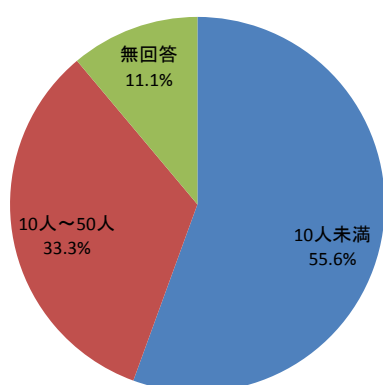
(2) 施設運営従事者向けアンケート調査結果

今回のアンケート調査実施地点として設定した施設の運営従事者を対象に実施した調査結果は以下のとおりとなっている。

1) 一週間で立ち寄るサイクリストの数

一週間で立ち寄るサイクリストの数については、「10 人未満」が 55.6%で最も多く、次いで「10 人～50 人」(33.3%) となっている。

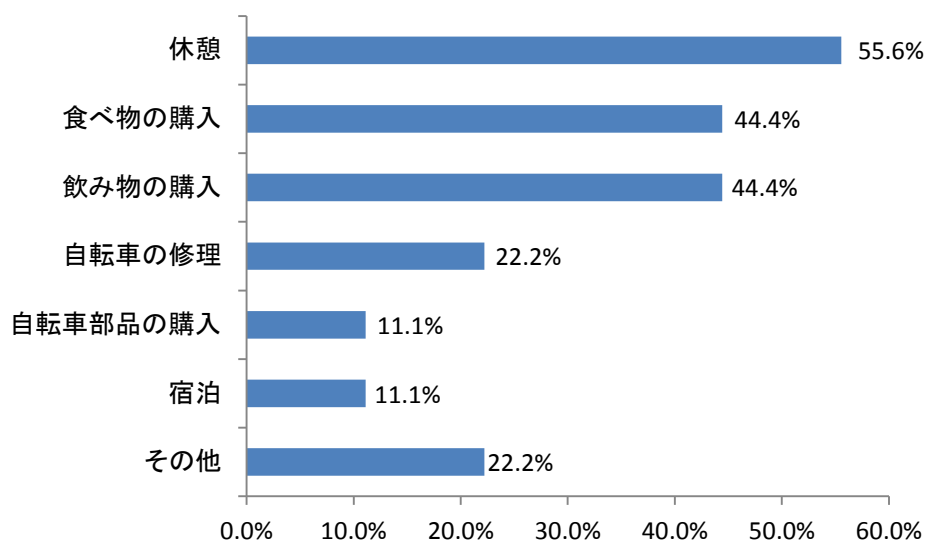
【一週間で立ち寄るサイクリストの数 (N=9)】



2) サイクリストが立ち寄る目的

サイクリストが立ち寄る目的については、「休憩」が 55.6%で最も多く、次いで「食べ物の購入」と「飲み物の購入」(ともに 44.4%)、「自転車の修理」(22.2%) などとなっている。なお、「その他」では、「地域の案内希望、乗船のため」などが挙げられている。

【サイクリストが立ち寄る目的 (N=9)】

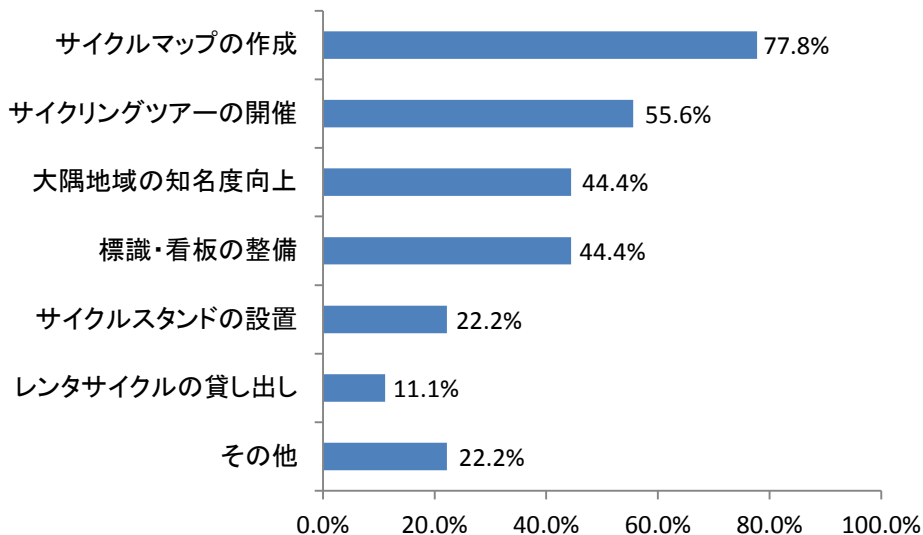


3) 地域でサイクルツーリズムを発展させる上で必要なこと

地域でサイクルツーリズムを発展させる上で必要なことについては、「サイクルマップの作成」が77.8%で最も多く、次いで「サイクリングツアーの開催」(55.6%)、「大隅地域の知名度向上」と「標識・看板の整備」(ともに44.4%) などとなっている。

なお、「その他」として、「自転車専用道路の拡充。路線バスへの自転車持ち込み可。自転車でしか行けない場所（特別な優遇する場所）を設ける。スポット間の公共交通機関に自転車を乗せられることが大切。サイクリストは「1 周する」とかの言葉に弱い。ましてフェリーを使ったりするのも非日常なので「鹿児島湾 1 周」（カゴイチ）をもっと売りにする。一般道路は他県もやっているので、MTB が走れる林道、トレイルを充実させてこれも「カゴイチ」=とこにもないオンリーワン！を目指す、というものや、県外や海外からのサイクリストに何らかの特典を与える」などが挙げられている。

【地域でサイクルツーリズムを発展させる上で必要なこと（N=9）】



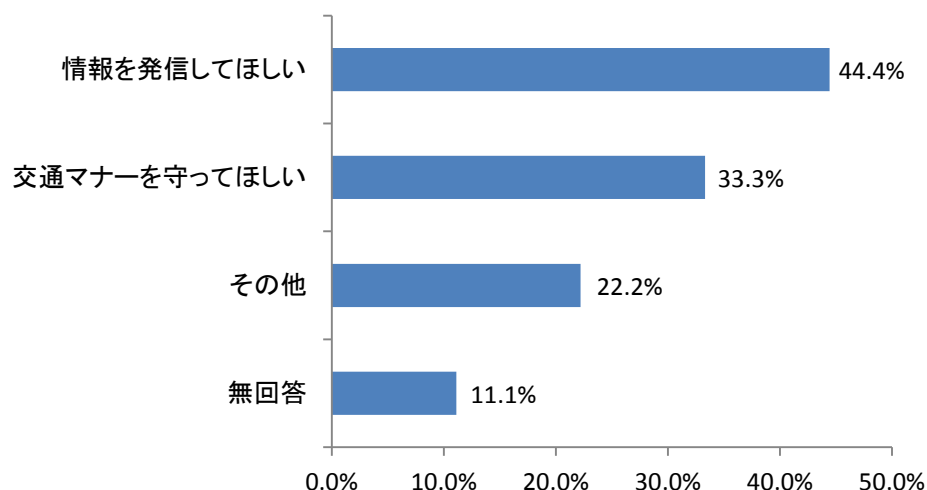
※サイクルマップが整備されているところもあることから、一般論としての回答も含まれている。

4) サイクリストに対する要望

サイクリストに対する要望としては、「情報を発信してほしい」が44.4%で最も多く、次いで「交通マナーを守ってほしい」(33.3%)となっている。

なお、「その他」では、「リピーターになってもらいたい」などが挙げられている。

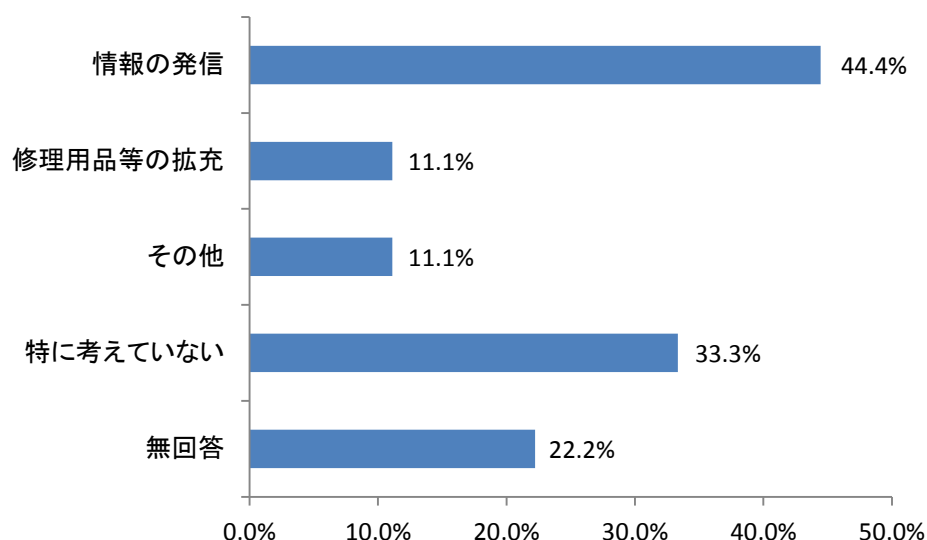
【サイクリストに対する要望 (N=9)】



5) サイクリングに関わることで今後取り組みたいと考えていること

サイクリングに関わることで今後取り組みたいと考えていることについては、「情報の発信」が44.4%で最も多く、次いで「修理用品等の拡充」(11.1%)となっている。

【サイクリングに関わることで今後取り組みたいと考えていること (N=9)】



第Ⅱ章 全国の先進的事例の調査分析結果

ここでは、全国の先進的事例として、“サイクリストの聖地”とも呼ばれ、国内外から注目を集める「瀬戸内しまなみ海道」での各種取組を整理した。

1. 「瀬戸内しまなみ海道」の概要

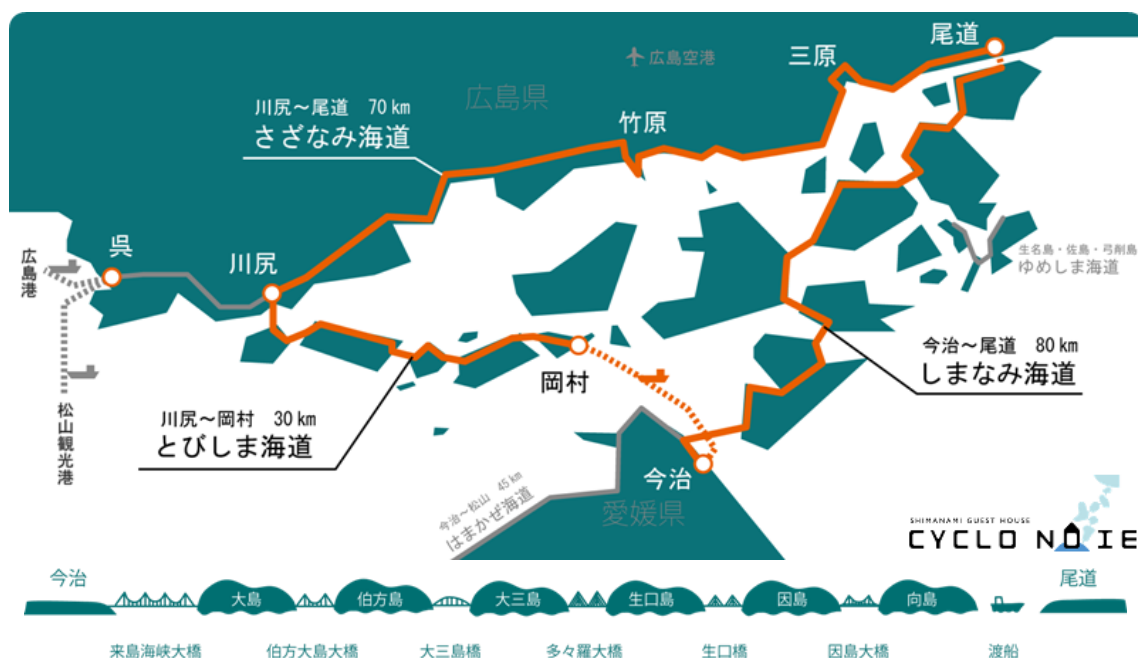
「瀬戸内しまなみ海道」は、西瀬戸自動車道の愛称で、本州・広島県尾道市と四国・愛媛県今治市を全長約 80km（自転車の場合）で結ぶ架橋ルートである。この区間には大きな島が 6 つあり、それぞれに形の異なった架橋で結んでいることから“橋の美術館”とも呼ばれている。

この海道の最大の特徴は、“海の上を自転車で走れること”。本州と四国を結ぶ 3 つのルートで唯一、自転車・歩行者専用道及び原付（125cc 以下）道が整備されている。

なお、瀬戸内海を満喫できるサイクリングルートは、「しまなみ海道」だけではなく、今治から船で岡村島へ渡り、呉市川尻まで 7 つの島をアイランドホッピングする「安芸灘とびしま海道」、そしてその 2 つの海道を結ぶ「さざなみ海道」があり、瀬戸内トライアングルを楽しむことができる。

かつては、中～上級者向けと言われた「とびしま海道」のサイクリングも、ここ数年で自転車積載可能な船の航路が充実し、ゲストハウスが誕生、本格的なレンタサイクルサービスも開始されるなど、初めてでもチャレンジできる環境が整いつつある。

【「瀬戸内しまなみ海道とその周辺にある海道」】



資料) シクロの家 HP 以降同様

2.「瀬戸内しまなみ海道」サイクリングの特徴

1) 走行するロード

高速道路「西瀬戸自動車道」に沿ってサイクリングするのは橋の上だけであり、各島では橋から降りて一般道を走ることになる。また、尾道～向島間は頻繁に行き来している渡船で渡る。なお、橋の入り口には、傾斜を緩やかにしたアプローチ道が整備されている。

【橋上の自転車専用道】



【登りやすく設計されたアプローチ道】



2) 環境整備

サイクリング推奨ルートには道しるべとなる「ブルーライン」が引かれているので、水色の線に沿って走るようになっている。尾道や今治への残りキロ数も表示されており、分岐には地図看板もあるので、初めて走る道でも安心して走ることができる。

「サイクルオアシス」は、島に住む人々がボランティアで設置している交流・休憩スポットで、工具や空気入れ、トイレを貸してもらえる。

また、レンタサイクルはルート上に 13 ヶ所ターミナルが整備されており、乗り捨てが自由自在となっている。しまなみ海道を片道だけ楽しむことやいくつかの島をじっくりとサイクリングすることもできるようになっている。

【ブルーラインや道案内の看板】



【サイクルオアシス】



【レンタサイクルターミナル】



3) トラブル救済の仕組み

途中でパンクしたり自転車移動ならではのトラブルにも、地元有志で構成された「島走レスキュー」の仕組みも整備されている。レスキューポイントとなっている自動車修理事社、ガソリンスタンドなどがタッグを組んで、可能な範囲での修理をしてくれるサービス。レスキューポイントまで移動できない場合は、タクシー会社による搬送のサービス、レスキュータクシーも利用するという方法がある。

【トラブル救済の仕組み（島走レスキュー）】



4) ガイドブック

地元サイクリストが作成したガイドブックが刊行されており、立ち寄りスポットのチェックや計画に便利な大きな紙の地図も盛り込まれている。

【しまなみサイクリングのガイドブック】



2017年8月 改訂版

A5版 144ページ

定価（本体1300円＋税）

発行所：NPO法人シクロツーリズムしまなみ

プロフィールマップのページ



自転車に特化した情報をてんこ盛り。全島主要ルートの高低差がわかるプロフィールマップも掲載。

行ってみよう!・・・のページ



きっと見つかる、あなただけの宝もの。今までのガイドブックでは紹介されない、マニアックなポイントも満載。

地図のページ



5) その他サービス

上記以外にも、前輪を外すだけで自転車を載せられる高速バス、自転車をそのまま積み込める JR 四国の列車「サイクルトレインしまなみ号」、サイクリストが利用可能なコインシャワーやシャワールームなど様々なサービスが用意されている。

【前輪を外すだけで自転車を載せられる高速バス】



写真は尾道～今治間を 2,250 円（自転車の追加料金無し）で運行する「しまなみエクスプレス」
※前輪を外せない一般の自転車は利用不可

【しまなみエクスプレスが運行することになった経緯】

- 運営しているのは第三セクターの「おのみちバス」（旧尾道市営バス）
- しまなみエクスプレスの運行は 2014 年度から開始（2009 年頃から貸切バスにて自転車を輸送する社会実験を実施）
- しまなみ海道は片道で約 70km あることから自転車で往復するのは難易度が高く、バスによる自転車輸送のニーズはあった。また、輪行（自転車を分解して袋に入れて公共交通機関を利用して持ち運ぶこと）は手間がかかることから、バスにそのまま持ち込んで輸送するニーズがあった。
- 「おのみちバス」にとっても、尾道～今治間を走行するバスは必ずしも乗車率が高くなく、一部座席を自転車用のスペースとしてサイクリストの乗客を増やすことは有益であった。
- 自転車はもともと手荷物として取り扱っているため、追加料金は徴収していない。

【自転車をそのまま積み込めるＪＲ四国の列車「サイクルトレインしまなみ号」】



サイクルトレイン松山しまなみ号

自転車を含む料金

	松山	三津浜	伊予北条
今治	1,000円	1,000円	800円
波止浜	900円	900円	700円
伊予北条	500円	400円	
三津浜	400円		

通常の料金

	松山	三津浜	伊予北条
今治	950円	950円	660円
波止浜	850円	850円	550円
伊予北条	360円	260円	
三津浜	210円		

サイクルトレインしまなみ号の運行は、「しまなみサイクルトレイン利用促進協議会」（愛媛県、今治市、松山市、（一社）愛媛県観光物産協会、（公社）今治地方観光協会で構成）と、「JR 四国」によって、2016 年 9 月から期間限定で実施している。

【サイクルトレインしまなみ号が運行することになった経緯】

- ・サイクルトレインしまなみ号は、サイクリストのニーズがあることを把握した愛媛県から JR 四国にツアー企画として依頼し、JR 四国がそれに応じて催行している（一般の乗客は乗車しない）
- ・サイクルトレインの中には、しまなみ号のように通常のロングシートの車両を利用しているものや、特急宇和海のように専用の車両を整備したものがある。

参考) 愛媛県内における主要な交通機関におけるサイクリストへのサービス一覧

主要交通機関	サービス名	サービス内容
松山空港	手ぶら観光サービス	13 時までに松山空港宅配カウンターで預けられた荷物を当日 17 時までに宿泊先のホテル・旅館まで配送（佐川急便㈱）
	自転車梱包用段ボールの預かり	航空機での自転車輸送に使用した梱包用段ボールを 7 日間無料で預かり
	サイクルステーション	空港ターミナルビルにサイクルスタンド 2 基、空気入れを設置。案内所で自転車整備用工具貸出
	更衣室	サイクリスト、お遍路さんの着替えコーナー
松山観光港	道後温泉手ぶら観光便	松山観光港から道後温泉宿泊先ホテル・旅館の手荷物を 1 個 500 円で当日中に配送（松山海陸運送㈱）
東予港	サイクルオアシス	空気入れ、水、トイレ、休憩設備、情報を無償提供
	サイクルステーション	東予港、大阪南港にサイクルスタンド、空気入れを設置（四国開発フェリー㈱）
	船内荷物預かりサービス	日帰り乗船者の荷物を船内で預かり
JR 四国	輪行袋レンタルサービス	自転車を解体し、500 円のレンタル輪行袋に収納した場合は手荷物として持ち込み可
	予土線混乗試験	期間限定で土日祝日の一部列車において、宇和島駅ー窪川駅（高知県）普通列車の車内に自転車をそのまま持ち込める混乗試験を実施。1 列車 5 台まで。混み具合によっては持ち込めない場合あり
	予讃線特急宇和海サイクルルーム	松山駅、宇和島駅乗降で、1 列車 2 台まで無料で自転車持ち込み
	サイクルトレイン松山/西条しまなみ号	概ね春・秋に団体臨時列車方式による旅行商品として運行。土日祝日 1 日 1 往復。各日 30 名。
伊予鉄道	サイクルトレイン	土日祝日 1 列車 10 台まで。1 回 100 円、車内の混み具合によっては持ち込めない場合あり
	手荷物一時預かり	1 日 1 回 540 円（伊予鉄総合企画㈱）
JR 松山駅	手ぶら観光サービス	JR 松山駅から宿泊先ホテル・旅館まで 1 個 500 円で配送
主要交通機関以外でのサービス	手ぶら観光サービス「バスパ」	松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市内の提携ホテル、松山空港内佐川急便宅配カウンターにて配送受付。松山市を起点に、今治市、宇和島市、八幡浜市各市との間で実施

資料) 愛媛県庁 HP をもとに作成

3. しまなみ海道のサイクルツーリズムを支えているもの

1) 行政の取組

1999 年のしまなみ海道の開通に合わせて、今治・尾道両市がしまなみ海道を利用した観光振興策として、レンタサイクルターミナルの整備を行った。レンタサイクルターミナルは、今治市側・尾道市側共に指定管理者が運営していたが、尾道市側では、2017 年 3 月の一般社団法人しまなみジャパンの発足以降、同法人が運営している。

しまなみ海道におけるブルーラインや標識は 2010 年から、そのコースとなる道路の保有者（国・県・市）によって整備されてきた。このように、サイクリストを支えるハード面は行政が積極的に整備している他、愛媛県庁は企画振興部に「自転車新文化推進室」を設置しており、今治市においても観光課がサイクリングの促進に注力している。

2) 民間の取組

遠方から来るサイクリストの利便性を高めるために様々な取組が実施されている。自転車の持ち込みが可能なサイクルトレイン（JR 四国）、同じく自転車の持ち込みが可能なサイクルバス（おのみちバス）、自宅や宿泊施設、交通結節点等を結ぶ荷物配送サービス（佐川急便等）、が実施されている他、サイクリスト向けの宿泊施設（自転車を部屋に持ち込むことや、レンタサイクルを乗り捨てることが可能）、無償で水や休憩所・工具類の貸し出しサービス等を提供するサイクルオアシス（地元の有志の方々）が整備されている。

3) 官民一体となった取組

しまなみ海道を自転車で通行するのに必要な通行料が、2016 年 4 月 1 日から 2018 年 3 月 31 日まで無料化されている（行政・本州四国連絡高速道路・地元の方の寄付等、地域全体の連携による。歩行者は従来から無料）。また、サイクルオアシスについては、更なる普及のため、愛媛県が一定の基準を満たす施設を認定し、コンビニ等に対してサイクルスタンド等の無償貸与を実施している他、表示（ペナント）についても、今治～尾道間でデザインを統一している。宿泊施設をサイクリスト向けにしたのも愛媛県からの働きかけがあった。

このように、しまなみ海道沿線の地域においては、官民一体となってサイクリストを支える態勢が出来上がっている。しまなみ海道の南側に位置する愛媛県今治市においては、もともとお遍路さんをもてなす歴史があり、それがサイクリストを支えるサイクルオアシスが広まった土壌にもなっていると考えられる。

4) 世界的に有名になった背景

2012 年 5 月に世界最大の自転車メーカーGIANT（台湾）の劉会長（当時）がしまなみ海道を自転車で走破したことで、しまなみ海道の人気は世界的なものとなった。

その後 2014 年に高速道路を封鎖しての国際的なサイクリングイベント「サイクリングしまなみ」（参加者 7281 人、外国人が 500 人以上）開催を機に知名度が更に高まり、2014 年に米国 CNN 放送にて「世界 7 大サイクリングコース」の一つとして紹介された。

【2014 年サイクリングしまなみの様子】



資料) 愛媛県

4. ヒアリング調査結果

1) 実施概要

○調査期間：2018年1月7日（日）～1月9日（火）

○調査場所：しまなみ海道（広島県尾道市～愛媛県今治市）

【ヒアリング先】

組織名	所在地
今治中央レンタサイクルターミナル （サンライズ糸山）	愛媛県今治市
NPO 法人 シクロツーリズムしまなみ シクロの家	
一般社団法人 しまなみジャパン	広島県尾道市
ONOMICHI U2	

2) ヒアリング先組織の概要とヒアリング内容

①今治中央レンタサイクルターミナル（サンライズ糸山）

【ヒアリング先概要】

今治市にあるしまなみ海道サイクリングの拠点となる施設（指定管理者 一般財団法人 今治勤労福祉事業団）しまなみ海道の開通に合わせて1999年4月に今治市が設置。

600台弱のレンタサイクルが準備してある他、宿泊施設、シャワーを備えており、ハイシーズンになると、月間7千～8千人がレンタサイクルを利用している。ヘルメット着用者を対象にサイクリング完走認定証の発行事業を実施している他、事故発生地点における注意喚起のために標識の設置、宿泊客向けのミニサイクリング、自転車歩行者道の清掃活動も実施している。

【外観】



資料）サンライズ糸山 HP 以降同様

【サイクルスタンド】



【タイヤチューブの自動販売機】



【自転車の持ち込みも可能な宿泊施設】



【1泊の宿泊費】

人数	大人 (16歳以上)	中学生	4歳以上 小学生
1名	4,320円	3,888円	3,456円
2～3名	3,240円	2,916円	2,592円
4名以上	2,700円	2,484円	2,160円

【レンタサイクル例①クロスバイク】



【レンタサイクルの料金】

貸出料金	大人	1,000円 / 1日
	小学生以下	300円 / 1日
	電動アシスト	1,500円 / 6時間
	タンデム自転車	1,200円 / 1日
保証料金	大人	1,000円 / 1台
	小学生以下	500円 / 1台
利用時間	4月～9月	8:00～20:00
	10月～3月	8:00～17:00

※貸出ターミナルへ自転車を返却時には保証料を返金

【レンタサイクル例②電動アシスト付自転車】



【ヒアリング内容】

- しまなみ海道でサイクリングが盛んな理由は、愛媛県知事、今治市長の積極的な取組によるところが大きい。愛媛県庁には企画振興部に自転車新文化推進室が設置しており、今治市役所には産業部観光課にサイクルシティ推進室が設置してある。
- 愛媛県内には 20 を超えるサイクリングコースが存在しており、愛媛県と台湾、今治市と沖縄県うるま市で自転車の交流が行われている。
- 2014 年に開催された国際大会「サイクリングしまなみ」の開催や、米国 CNN で「世界 7 大サイクリングコース」として紹介されたことで海外からのサイクリスト、取材が増加した。
- 抜群の景観を誇るロケーションに加え、ブルーラインや標識によって迷わないコース、サイクルオアシスの整備、周辺の観光資源である潮流の観潮船やバーベキューとセットにした観光を提供できることが、競技者から家族連れまで幅広い層の需要を取り込んでいると分析。
- サイクリストのマナーアップ（1 列走行・左側通行）のためのチラシ配布や、大会での島民の方の歓迎に感激したというサイクリストの声をフィードバックすること等を通して、島の方がサイクリストを歓迎する意識が高まった。
- レンタサイクルターミナルの整備他、自治体レベルでの協力と、地元の方の協力によって支えられている。

②NPO 法人シクロツーリズムしまなみ/シクロの家

【ヒアリング先概要】

愛媛県今治市、上島町の島嶼部をメインフィールドに、自転車旅行（シクロツーリズム）に着眼し、島を周遊する観光スタイルの定番化、滞在型の旅行者誘客活動を展開している。2009 年 4 月設立。

しまなみ海道開通に伴う環境の変化（船の減便・廃止等）に対応するため、地域の方々と共に地域資源の掘りおこし、専門家も交えてサイクルマップの策定などを実施。サイクリストの休憩地点を公募するなど、地域の住民が支える現在のサイクルオアシス制度が整備される契機を作った。荷物や自転車の配達サービス、今治のタオルメーカーと連携し、ツアー中の写真をプリントしたタオルをお土産として配布する企画等も実施している。

【開催しているサイクリングツアーの様子】



資料）シクロの家 HP 以降同様

【同法人が今治市で運営しているゲストハウスシクロの家（外観）】



【施設内の様子 4人までの個室（1泊 3,300円～4,300円/人）】



【施設内の様子 ドミトリー（1泊 2,800円/人）】



【室内自転車ガレージとメンテナンスルーム】



【ヒアリング内容】

- 組織設立のそもそもの経緯は、しまなみ海道の開通（1999 年）や、平成の大合併（2005 年）で地元が消滅することへの危機感があったこと。従来地元住民の足であった船が減便・廃止され、今治の病院に通っていた方の足がなくなる等、地域を取り巻く環境が大きく変わった。
- そのような中、モデルコース作り事業を通して、地域の方が自転車に乗って地元の資源の再発掘への取り組みを通して婦人会や消防団、旅館経営者等、多くの人を巻き込んで地域の活力を引き出した。同時に地図の専門家、サイクルツーリズムの専門家を招いたマップの作成等では、タクシーの運転手や食堂のオーナー等もお客さん相手に活用出来る、と各方面から好意的な反応があった。
- サイクリングコースの標識に「住民の方が考えたコース」と表示してあることから、地域住民との一体感がうかがえる。
- 2011 年に、小さくても良いから顔が見える交流の拠点を作りたいとの思いから、サイクルオアシスを公募。島民からサイクルオアシスになる方法についての問い合わせを通して、サイクリストに来て欲しい方達の掘り起こしにつながった。その後今治市が尾道市に呼びかけて統一したマーク（ペナント）を整備。もともとお遍路さんを迎え入れるなど、オープンで温かい風土があったことが、現在 100 箇所を超えるサイクルオアシスが普及している一つの要因になっていると考えられる。
- トラブル発生時には、土日祝祭日はサンライズ糸山のサイクルセーバー、平日はパンク修理講座を受けた地元のサイクルオアシスの方がカバーするなど、官民一体となったサポート体制がとられている。

③一般社団法人 しまなみジャパン

【ヒアリング先概要】

瀬戸内しまなみ海道周辺地域の観光を担っていた任意団体「瀬戸内しまなみ海道振興協議会」（愛媛・広島両県知事が顧問。尾道市、今治市、上島町の行政、商工観光関連 22 団体で構成）を 2017 年 3 月 22 日に日本版 DMO 組織として発展改組。

「瀬戸内しまなみ海道振興協議会」では、しまなみ海道開通を機に豊かな自然景観を有するしまなみ海道という資源を活用し、自転車による観光振興に取り組もうという機運の高まりや共通の目標が生まれた。

発足後、従来指定管理者が運営していた尾道市側のレンタサイクルターミナルの運営を行っている。

【団体の概要（2017 年 6 月 21 日現在）】

項目	内容
商号	一般社団法人 しまなみジャパン
所在地	広島県尾道市東御所町 11 番 9 号 JA 尾道市駅前ビル
理事	理事長 菅良二 （今治市長） 副理事長 平谷祐宏 （尾道市長） 副理事長 宮脇馨 （上島町長） 専務理事 合田省一郎（日本人材機構より紹介） 理事 岡田正弘 （尾道市産業部長） 理事 安井孝 （今治市産業部長） 理事 澤田一政 （上島町商工観光課長） 理事 岡田豊明 （一社）尾道観光協会 理事 岡野憲明 （一社）因島観光協会 理事 関清剛 （公社）今治地方観光協会 理事 小川俊治 （上島町観光協会）
監事	監事 瀬尾暁史 （瀬尾税理士事務所）
従業員数	9 名（内、行政出向者 2 名、民間出向者 2 名）
事業内容	【初年度】・マーケティング/プロモーション事業 ・イベント実行事業 ・レンタサイクル事業 等

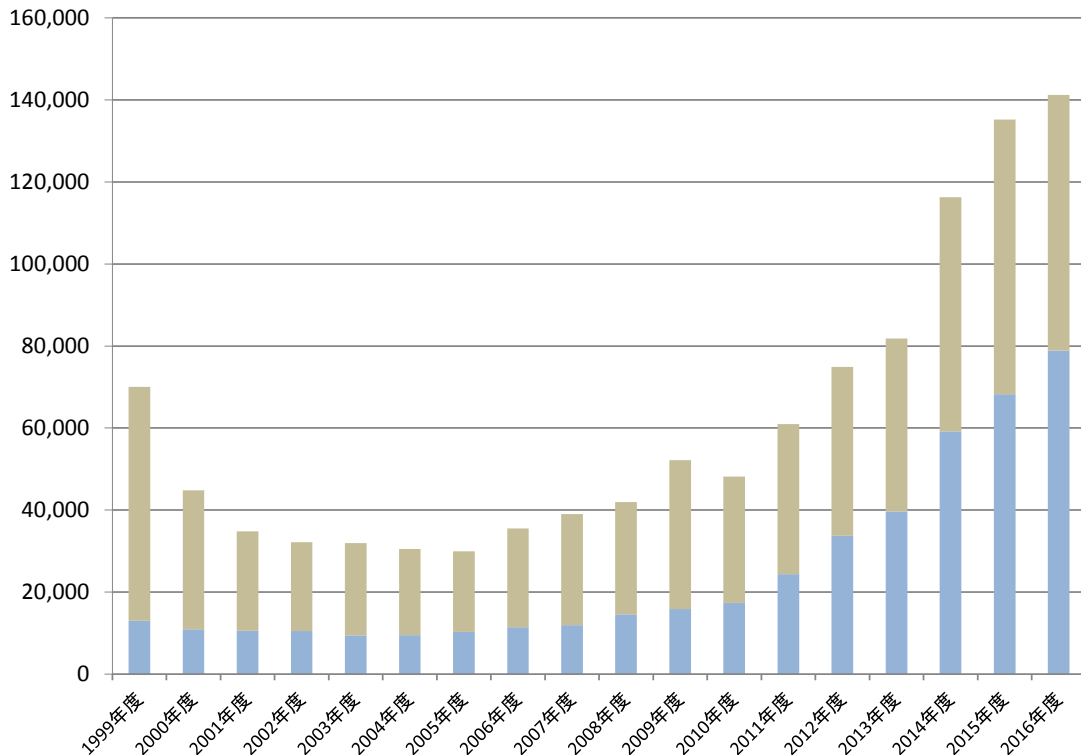
【外国人観光客への対応】

- ・多言語 Web サイトの運営
- ・多言語パンフレットの作成
- ・WiFi 整備

ししまみ海道レンタサイクル貸出実績

単位:人

■ 今治 ■ 尾道



【ししまみ海道沿いにあるレンタサイクルステーション一覧】

(尾道側)

場所	ターミナル名	営業時間	住 所	連絡先	最寄りのバス停・港
尾道	尾道港 (駅前港湾駐車場)	7:00-19:00	尾道市東御所町地先	0848-22-5332	JR尾道駅 尾道港
向島	尾道市民センターむかいしま	8:30-19:00	尾道市向島町5531-1	0848-44-0125	尾道学園前バス停 フェリー乗り場
因島	土生港 (尾道市営中央駐車場)	8:30-19:00	尾道市因島土生町 1899-31	0845-22-3362	土生港前バス停 土生港
生口	瀬戸田町観光案内所	9:00-17:00	尾道市瀬戸田町沢200-5	0845-27-0051	耕三寺バス停 瀬戸田港
島	尾道市瀬戸田サンセットビーチ	9:00-17:00	尾道市瀬戸田町垂水 1506-15	0845-27-1100	サンセットビーチ入口バス停

(今治側)

場所	ターミナル名	営業時間	住 所	連絡先	最寄りのバス停・港
大三島	上浦レンタサイクルターミナル (道の駅「多々羅しまなみ公園」)	9:00-17:00	今治市上浦町井口 9180-2	0897-87-3855	大三島BS 井口港
	大三島レンタサイクルターミナル (道の駅「しまなみの駅御島」)	8:30-17:00	今治市大三島町宮浦 3260	0897-82-0002	大山祇神社バス停 宮浦港
伯方島	伯方レンタサイクルターミナル (道の駅「伯方S・Cパーク」)	9:00-17:00	今治市伯方町叶浦甲 1668-1	0897-72-0018	伯方島BS 木浦(伯方)港
大島	宮窪レンタサイクルターミナル (宮窪観光案内所)	9:00-17:00	今治市宮窪町宮窪 2822-9	0897-74-1074	大島営業所バス停 宮窪港
	吉海レンタサイクルターミナル (道の駅「ようみいきいき館」)	9:00-17:00	今治市吉海町名4520-2	0897-84-3233	下田水港バス停 下田水港
今治	中央レンタサイクルターミナル (サンライズ糸山)	8:00-20:00[4月～9月] 8:00-17:00[10月～3月]	今治市砂場町2-8-1	0898-41-3196	展望台入口バス停 今治港
	みなと交流センターレンタサイクルターミナル	9:00-17:00	愛媛県今治市片原町1丁目100番地3	0898-35-5090	今治棧橋バス停 今治港
	JR今治駅臨時レンタサイクルターミナル	8:30-17:00	今治市中日吉町1-6-23	0898-34-1200	今治駅バス停 今治港
	(返却のみ) 今治市役所本館前駐輪場	8:30-22:00	今治市別宮町1-4-1		今治駅バス停 今治港
	(返却のみ) 今治港駐輪場	終日	今治市片原町1丁目		今治棧橋バス停 今治港
	(返却のみ) 今治市役所本館前駐輪場	8:30-22:00	今治市別宮町1-4-1		今治駅バス停 今治港
	(返却のみ) 指定の旅館・ホテル(宿泊者のみ)				

※2014 年 1 月現在で、レンタサイクル乗り捨て可能な旅館・ホテルは今治市に 23 施設、西条市に 1 施設存在している。

【2016 年度地方別利用実績】

○各地方別利用実績（2016年度）

地方名	台数	割合
関東	33145	23.5%
近畿	32759	23.2%
中国	25518	18.1%
四国	20332	14.4%
海外	14318	10.1%
中部	8216	5.8%
九州	3716	2.6%
北海道・東北	1632	1.2%

※外数で不明が存在している

資料) しまなみジャパン・サンライズ系山

○海外からの利用TOP10（2016年度）

No	国名	台数	割合
1	台湾	2993	22.7%
2	香港	1793	13.6%
3	アメリカ	1024	7.8%
4	オーストラリア	909	6.9%
5	中国	840	6.4%
6	フランス	808	6.1%
7	イギリス	763	5.8%
8	ドイツ	635	4.8%
9	オランダ	487	3.7%
10	スイス	283	2.1%

※海外からの利用台数合計13172台

資料) しまなみジャパン・サンライズ系山

【尾道にあるレンタサイクルステーション】



【レンタサイクルの料金】

	大人	小学生以下の者
小径クロスバイク クロスバイク シティサイクル、軽快車	1日につき 1,000円	1日につき 300円
タンDEM自転車	1日につき 1,200円	-
電動アシスト自転車	1日のみ 1,500円	-
保証料	1,000円	500円

【レンタサイクル】



【ヒアリング内容】

- 団体の概要にある通り、官民一体となった組織。
- 地方別利用実績にある通り、国内外から訪れる多くの利用客の対応をしている。
- レンタサイクル事業の課題として、以下のようなものがある。
 - 「粗利率の向上」「サービス」「付加価値の向上」
 - 「事故防止のためのメンテナンススキルやサービスの向上」
 - ※貸出料金の値上げ、それに伴うサービスの質と量の充実
 - ※今治側との統合に向けた組織の調整
 - ※決済サービス（クレジットカード）
 - 「サイクリストへのマナー・安全運転の徹底」
 - 「スポーツサイクリングから観光サイクリングへの転換」
 - ※ユーザーのレベルの応じたコースの提案や各島での娯楽や飲食情報の提供
 - ※電動アシスト自転車について、底辺層の拡大、気軽にサイクリングを活用した「観光周遊（ポタリング）」を推進するうえで、積極的な導入」

④ONOMICHI U2

【ヒアリング先概要】

2014年3月オープン。事業計画の公募を通して、尾道水道に隣接する築70年以上の県営の海運倉庫をリノベーションした複合施設。自転車の持ち込みが可能で、館内にはGIANTのサイクルショップ（販売・レンタル）、ベーカリー、レストラン等に加え、ホテル内には自転車のリペアスペース（宿泊者専用）も設置している。

【外観】



資料）ONOMICHI U2 以降同様

【自転車の持ち込みが可能な部屋】



【宿泊料】

スタンダードツイン
19.9～20.3㎡
18,200円（税込）～/2名1室
デラックスツイン
25.6～26.9㎡
22,200円（税込）～/2名1室

【施設内の様子】



【施設内にあるサイクルショップ】



【ヒアリング内容】

国内初のサイクリストフレンドリーな複合施設であるのみならず、建物のデザインにも注力することで、メディアからも注目を集めている。また、併設しているベーカリー、レストランを通して地元の方も来るようになっている。

ニーズを上手くとらえることで、海外の富裕層の消費活動の受け皿にもなっている。

3) ヒアリング結果

以下、しまなみ海道での視察の結果、優れている点を①ソフト、②ソフト+ハード、③ハード、④組織、⑤しまなみ海道沿いの環境の5つの視点から整理する。

①ソフト

○イベントやツアーが充実している。

○下記のように、宿泊を伴うサイクリングイベントが存在しており、ガイド付きのツアーも催行されている。

- ・しまなみ縦走
- ・サイクリングしまなみ
- ・しまなみキャンプライド

②ソフト+ハード

○安心・気軽にサイクリングを楽しめる。

- ・自転車でも走りやすい・迷わない（ブルーライン・看板の設置）
- ・輪行可能なバスの運行
- ・サイクリングターミナルでの乗り捨て、バスでの移動が可能
- ・トラブル対応システム「島走レスキュー」（自動車修理会社・ガソリンスタンド等が可能な範囲での修理対応）
- ・自転車用タイヤチューブの自動販売機（サンライズ糸山）
- ・「サイクルオアシス」（ルート上の島の方々がボランティアで設置。工具、空気入れ、トイレ、水、休憩所を提供。農家民宿、ガソリンスタンド、小売店、喫茶店等100箇所以上にて設置）
- ・サイクルマップの発行
- ・サイクリスト向けの宿泊施設

○身軽・快適にサイクリングを楽しめる。

- ・他地域からコースへアクセスしやすい（山陽新幹線駅・JR尾道駅・今治港・JR今治駅に隣接）
- ・広島空港から尾道へ輪行可能なエアポートバス
- ・13箇所のサイクルステーション
- ・サイクルトレインしまなみ号（春秋限定。期間中は毎週土日運行）

③ハード

○コースそのものが魅力的である。

- ・景色がいい
- ・自転車で海の上を走れる
- ・コースが複数ある（フェリーを利用することで、様々なコースを巡ることが出来る）
- ・サイクリストが立ち寄りやすい飲食店がある
- ・「塩」「レモン」「村上水軍」「グルメ」等、様々なテーマでのサイクリングが可能

○拠点となる施設が整備されている。

- ・シクロの家
- ・ONOMICHI U2
- ・サンライズ糸山 など

④組織

○情報発信・集約機能が充実している。

- ・一般社団法人「しまなみジャパン」
- ・尾道観光協会
- ・今治地方観光協会
- ・シクロツーリズムしまなみ など

⑤しまなみ海道沿いの環境

○しまなみ海道沿いの環境は以下のようになっている。

【JR尾道駅前の「自転車組立場」】



【サイクリスト向けの案内】



【フェリー乗り場の様子①】



【フェリー乗り場の様子②】



【フェリー乗り場の看板】



【ブルーライン】



【サイクリスト向けの看板①】



【サイクリスト向けの看板②】



【サイクリスト向けの看板③】



【サイクリスト向けの看板④】



【サイクリスト向けの看板⑤】



【自動販売機にもサイクリングの絵】



【道の駅にあるレンタサイクル】



【道の駅にあるサイクルスタンド①】



【道の駅にあるサイクルスタンド②】



【コンビニにあるサイクルスタンド】



【コース上の施設にあるサイクルスタンド】



【サイクルオアシスのペナント】



【サイクリストの聖地碑①】



【サイクリストの聖地碑②】



第Ⅲ章 調査分析結果を踏まえた課題の整理

1. アンケート調査結果から見えてきた問題点・課題

アンケート調査結果を踏まえ、今後、南九州地区がサイクリングの適地としてさらに魅力を高めていくための課題について、①標識・看板、②道路の整備状況、③施設、④サイクルマップ、⑤イベント、⑥PR の6つの項目別にまとめた。

①標識・看板

- ・ブルーライン、標識等の整備
(初めて来た人や土地勘のない人には道がわかりづらい)

②道路の整備状況

- ・道が狭く、デコボコしている
- ・道路に雑草が多い、街灯が少ない

③施設(飲食店、温泉施設、宿泊施設、物産館・道の駅、コンビニ等)

- ・サイクルショップやコンビニ、休憩できる施設、宿泊施設が少ない
- ・トラブル時の施設が少ない
- ・コンビニや公共施設にパンク修理セットの設置
- ・40km間隔程度での入浴施設・野営施設の設置
- ・サイクルラックの整備
- ・タイヤチューブの自動販売機の設置

④サイクルマップ

- ・サイクルマップ(コース毎に高低差、距離、飲食店情報)の整備
- ・交通結節点等におけるサイクルマップの配布

⑤イベント

- ・多くのイベント、ツアーの開催
- ・観光地やコンビニと連携したポイントラリー
- ・薩摩半島(南さつま市等)と大隅半島を結んだ広域的なイベントの開催

⑥PR

- ・一般のサイクリスト向けのPRの強化(大隅半島は自転車競技のメッカ)
- ・サイクリストの聖地となるスポットの設置

2. 先進事例調査から見えてきた課題克服の方向性

先進事例である「瀬戸内しまなみ海道」における各種取組を踏まえ、今後の南九州地区の課題克服の方向性（ヒント）について、①標識・看板の整備、②施設の整備・充実、③サイクルマップの整備、④イベントの開催、⑤PRの強化、⑥その他の6つの項目別にまとめた。

①標識・看板の整備

- ・ブルーライン、標識等の整備は、道路の保有者（国・県・市）によって整備している
- ・広島県尾道市から愛媛県今治市までブルーライン、標識が整備されている

②施設の整備・充実（サイクルオアシス、飲食店、宿泊施設、コンビニ等）

- ・しまなみ海道沿いには約 100 箇所のサイクルオアシスが存在し、サイクリストが安心して休憩、トラブル対応等を行える態勢が整っている
- ・しまなみ海道沿いの飲食店、宿泊施設、コンビニ等にはサイクルスタンドが整備されており、サイクリストが立ち寄りやすいスポットが点在している
- ・今治にあるサンライズ糸山ではタイヤチューブの自動販売機を設置している

③サイクルマップの整備

- ・サイクルマップが整備されており、街中で容易に手に入る

④イベントの開催

- ・民間でのガイド付きツアー、キャンプを伴うツアー等の催行に加え、高速道路を封鎖した大規模な国際サイクリング大会も開催している
- ・台湾や沖縄県うるま市等、他地域とサイクリングを通じた交流を実施している

⑤PRの強化

- ・県が観光資源の一環として PR している他、民間企業、NPO 法人等の取組、サイクリングの様子が HP や SNS 等、Web 上で取り上げられている
- ・サイクリストの碑が設置されている

⑥その他

- ・レンタサイクルターミナルの整備、レスキュー態勢の整備
- ・自転車の乗入れが可能なバスサービスの充実など公共交通機関との連携強化
- ・自転車を部屋内に持ち込み可能な宿泊施設の整備
- ・サイクルスタンドの設置
- ・サイクルトレインの企画・催行
- ・手荷物宅配サービスの提供（民間）

第Ⅳ章 南九州におけるサイクルツーリズムの促進策の検討

ここでは、第Ⅲ章までの検討結果を踏まえ、南九州におけるサイクルツーリズムの促進策について検討した。

1. 促進策検討の方向性

南九州におけるサイクルツーリズムの促進策については、2017年5月1日施行された「自転車活用推進法」を踏まえつつ、以下の5つの方向性に基づいて検討する必要がある。

①受入態勢の整備・充実

国内外から南九州を訪れるサイクリストが安心して安全に走行できるように、ソフト・ハードの両面から受入態勢の整備・充実を図る必要がある。

②官民連携による取組の推進

南九州においてサイクルツーリズムを推進するにあたっては、従来の行政主導型ではなく、民間事業者や各種団体、住民などが積極的に関わりながら、多様なプレーヤーが一体となって取り組む必要があり、その効果を地域全体に波及させていくことが重要である。

③情報発信力の強化

南九州のサイクルツーリズムに関して、国内外の旅行会社やサイクリング関係者等に広く周知し、営業活動を行うとともに、ターゲット層別に多様な媒体を活用したPR活動を展開する必要がある。

④広域連携の推進

南九州のさらなる魅力づくりやサイクリストの多様なニーズへの対応等を図るため、薩摩半島、大隅半島、宮崎県南部地域の行政、各種民間事業者、教育機関等との広域連携を推進する必要がある。

⑤関係者の意識の醸成

サイクルツーリズムの意義や魅力を理解してもらうためのシンポジウムやサイクリングの安全性や楽しさを体験できるイベントの開催等を通して、民間事業者や住民、各種団体等の理解を促し、おもてなしに関する関係者の意識の醸成を図る必要がある。

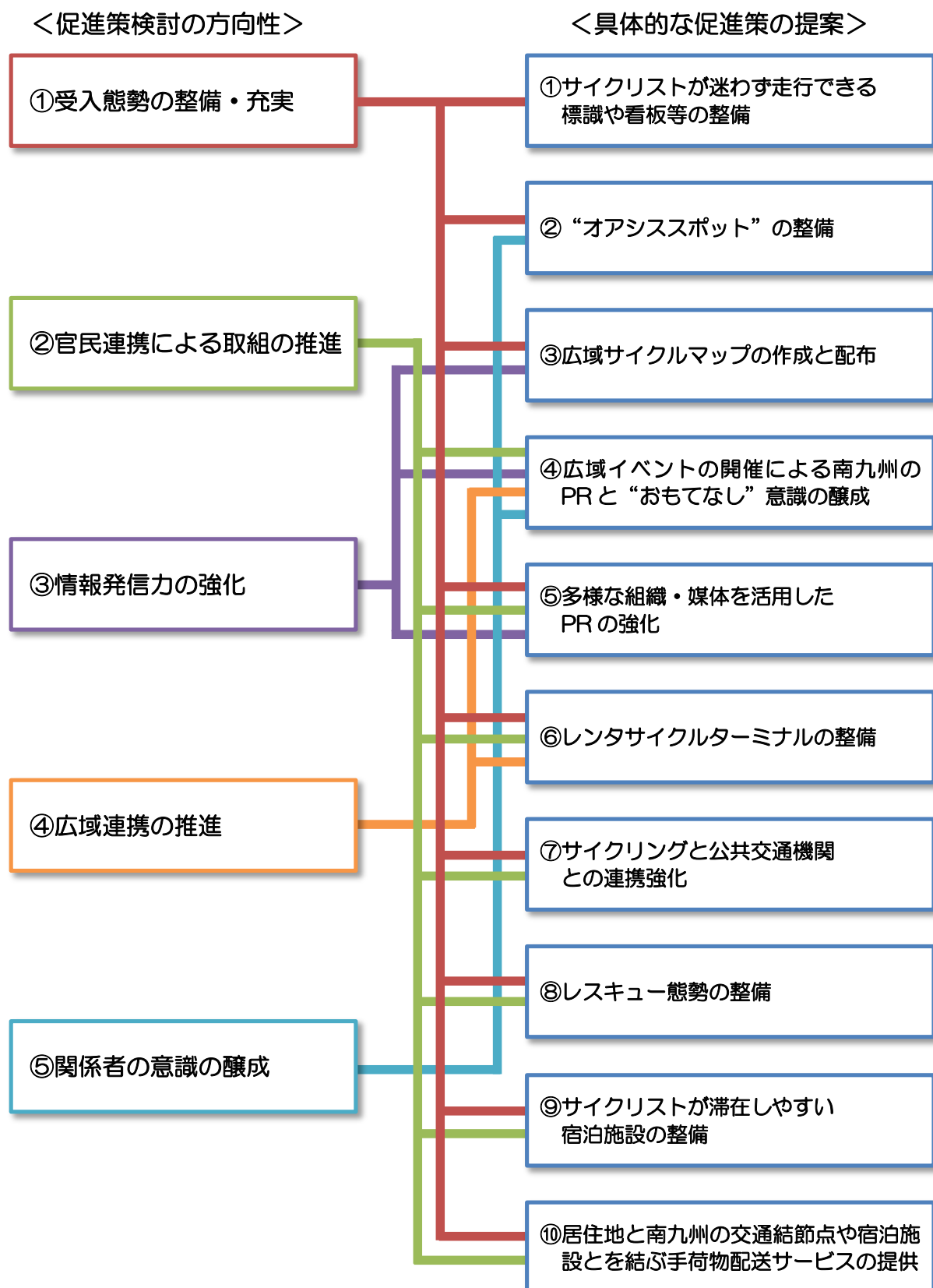
＜参考：自転車活用推進法の概要（2016年12月16日公布・2017年5月1日施行）＞

基本理念	・自転車は、二酸化炭素等を発生せず、災害時において機動的 ・自動車依存の低減により、健康増進・交通混雑の緩和等、経済的・社会的効果 ・交通体系における自転車による交通の役割の拡大 ・交通安全の確保 ↓ 自転車の活用を総合的・計画的に推進
国等の責務	○国：自転車の活用を総合的・計画的に推進 ○地方公共団体：国と適切に役割分担し、実情に応じた施策を実施 ○公共交通事業者：自転車と公共交通機関との連携等に努める ○国民：国・地方公共団体の自転車活用推進施策への協力
基本方針	・以下の施策を重点的に検討・実施 ①自転車専用道路等の整備 ②路外駐車場の整備等 ③シェアサイクル施設の整備 ④自転車競技施設の整備 ⑤高い安全性を備えた自転車の供給体制整備 ⑥自転車安全に寄与する人材の育成等 ⑦情報通信技術等の活用による管理の適正化 ⑧交通安全に係る教育及び啓発 ⑨国民の健康の保持増進 ⑩青少年の体力の向上 ⑪公共交通機関との連携の促進 ⑫災害時の有効活用体制の整備 ⑬自転車を活用した国際交流の促進 ⑭観光来訪の促進、地域活性化の支援
自転車活用推進計画	○政府：基本方針に即し、計画を閣議決定し、国会に報告 ○都道府県・市区町村：区域の実情に応じ計画を定めるよう努める
自転車活用推進本部	・国土交通省に、自転車活用推進本部を設置 ・本部長は国土交通大臣、本部員は関係閣僚とする
自転車の日・月間	・5月5日を「自転車の日」、5月を「自転車月間」とする
附則で定められた検討事項	・自転車活用推進を担う行政組織の在り方の検討・必要な法制上の措置 ・自転車の運転に関しての道路交通法違反行為への対応の在り方 ・自転車の運行により人の生命等が害された場合の損害賠償保障制度

資料)「自転車活用推進法の施行について」(国土交通省 自転車活用推進本部事務局 平成29年5月)

2. 具体的な促進策の提案

促進策検討の方向性を踏まえ、南九州におけるサイクルツーリズム促進に向けて以下に示す 10 の方策を提案する。



①サイクリストが迷わず走行できる標識や看板等の整備

サイクリストが安心して周遊を楽しむためには、コースが明確に分かるよう、サイクリングコースを案内するブルーライン、標識の整備が欠かせないが、一方でそれらの整備にはそれなりのコストが必要となる。

そこで、まずは交差点など、進路が比較的分かりづらい箇所において重点的に標識等を整備し、その後は段階的に地域の実情を踏まえ必要性や優先順位を勘案して整備を行い、最終的にはサイクリングコース全体にブルーラインや標識を整備していくことが考えられる。

【許可を得て手作りの標識を設置している例】



②“オアシススポット”の整備

サイクリストが走行するフィールドは、一日に100kmを超えることも少なくなく、広範囲にわたることもある。一方で、一日に数キロから数十キロの範囲で手軽なサイクリングを楽しみたいニーズもある。その際に水分や食べ物等の補給や休憩をすることが出来ると同時に、パンクや故障等のトラブル発生時に対応できる修理道具等が整備されている地点（オアシススポット）が点在していると、安心してサイクリングを楽しむことができる。

そこで、南九州に点在している役場・支所、郵便局、道の駅、飲食店、コンビニ、宿泊施設、ガソリンスタンド等にサイクルスタンドやパンク修理の道具を設置してもらうことで、サイクリストが安心して周遊できる環境を整備する。

【しまなみ海道にあるオアシスサイクルの様子】



③広域サイクルマップの作成と配布

現在、南九州の複数の自治体においてサイクルマップを作成している。そこで、広域連携により、南九州全体を対象とした長距離・短距離コースをカバーする広域のサイクルマップを作成する。その際には、昼食場所、休憩場所（カフェ、景勝地等）、宿泊場所、オアシススポットなどできるだけ地域資源を掘り起し、マップに掲載することで、サイクリングを通して地域資源を結びつけることができると考えられる。

作成したマップは、県内の空港・ターミナル駅・港湾・バスターミナル等の交通結節点や宿泊施設等に加え、志布志港と海上交通にて結ばれている大阪南港や東京・大阪に複数店舗を有するアスリート食堂等大都市圏でも効果的な地点で配布することで、南九州におけるサイクリングコースの知名度を向上させる。

④広域イベントの開催による南九州のPRと“おもてなし”意識の醸成

しまなみ海道においては、大規模なサイクリングイベント「サイクリングしまなみ」を開催しており、株式会社しまなみ地域経済研究センターの試算によると、その経済波及効果は2014年が6億2,898万円（参加者数7,281人、関連イベント来場者約11万2千人）、2016年が5億3,156万円（参加者3,539人、関連イベント来場者3万5千人）とそれぞれ推計されている。

そこで、大隅半島は、温泉地として有名な指宿市やサイクルツーリズムに取り組む南さつま市、県都鹿児島市を擁する薩摩半島と海上交通網で結ばれていると同時に、宮崎県南部とも隣接しており、大隅半島、薩摩半島、宮崎県南部等を結ぶ広域イベントを開催することで、その経済波及効果に加えて、南九州におけるサイクリングの知名度を向上させるとともに、サイクリストをもてなす意識の醸成につながることを期待される。

他にも、南九州の名産品を提供するサイクリングイベントや、大隅半島は本土最南端である佐多岬の他、夜間の交通量が少ない区間があることから、夜間を通行止めとして参加者が電飾をつけて走行するイルミネーションイベント等を開催することで、新たな観光客（見学客）の動員及び宿泊客の増加を見込むことができると考えられる。

【大隅半島から薩摩半島にわたるコースの例】



【大隅半島から宮崎県南部にわたるコースの例】



⑤多様な組織・媒体を活用した PR の強化

南九州にはサイクルツーリズムの担い手となる人材・組織（プロレーシングチームのシエルブルー、鹿屋体育大学自転車競技部、南大隅高校自転車部等）が存在している。彼らと連携したサイクリングイベントやプロモーションビデオ等、様々な情報発信を通して全国的な知名度の向上を図る。

また、2018 年度中に完成予定（詳細は未定）の佐多岬展望台が完成する際の PR とあわせて、南九州におけるサイクリングコースを PR することで、一般の観光客とサイクリストに対して南九州の魅力を発信し、相乗効果を狙うことも考えられる。

さらに大隅半島は、本土最南端の佐多岬を有する強みを活かし、自転車をモチーフにした「最南端の碑」などサイクリストのチャレンジ精神を喚起するモニュメント、あるいは道中でサイクリストの心に響く看板、標識など、いわゆる“インスタ映え”するスポットを設置することでサイクリストが訪れたいくなる魅力的な地域を目指す。

【しまなみ海道にある『サイクリストの聖地』碑と説明の碑】



⑥レンタサイクルターミナルの整備

交通結節点である桜島港、垂水港、根占港、志布志港、鹿児島空港等においてレンタサイクルターミナルを整備し、自転車の乗り捨ても可能にすることで、大隅半島を中心した南九州でのサイクリングを手軽な観光資源の一つとして位置付ける。その際、指宿港・山川港と海上交通網で結ばれている根占港に隣接したなんたん市場・ネッピー館から雄川の滝（片道 9.1km）のようなモデルコースの設定とプロモーション活動を各地で行いながら、整備を進めていくことも考えられる。

【尾道市にあるレンタサイクルターミナル】



【道の駅にあるレンタサイクルターミナル】



⑦サイクリングと公共交通機関との連携強化

レンタサイクルターミナルが複数整備された際のターミナル間の移動、または自転車を持参したサイクリストがコースの途中でリタイアする場合に自転車を積載できるよう、タクシー会社・バス会社等と連携することが考えられる。しまなみ海道においては、自転車を積載可能なバスに改造することで、乗車率が低いバスの有効活用を行っていた。回送バスなども活用する取り組みは南九州地区の公共交通機関の維持・存続にとっても一助となることが考えられる。

【しまなみ海道で運行している自転車を積載可能なバス】



⑧レスキュー態勢の整備

サイクリストが安心して周遊できるよう、市街地ではない地域でトラブルが発生した際のレスキュー態勢として、タクシー会社、バス会社等との連携が考えられる。その際、サイクリストとタクシー会社やバス会社等双方の負担を軽減するため、サイクリストが数百円程度を事前に支払う基金のような仕組みをつくり、トラブル発生時にはレスキューに来て貰え、タクシー会社やバス会社には、レスキュー料金として基金から実費を支払うような仕組みを導入することも考えられる。

【しまなみ海道におけるレスキュー態勢】



⑨サイクリストが滞在しやすい宿泊施設の整備

サイクリストは宿泊する際、高価な自転車を室内に持ち込みたいというニーズを持っている。既存の宿泊施設にマットや輪行用の袋等を準備することで、室内に自転車の持ち込みが可能となれば、既存の施設にとっても、新たな客層を呼び込む機会になると考えられる。

また、南九州において増加しつつある廃校や使われなくなったその他の公共施設をサイクリストの宿泊施設（ゲストハウス）として有効活用することも考えられる。

【自転車を部屋に持ち込める宿泊施設】



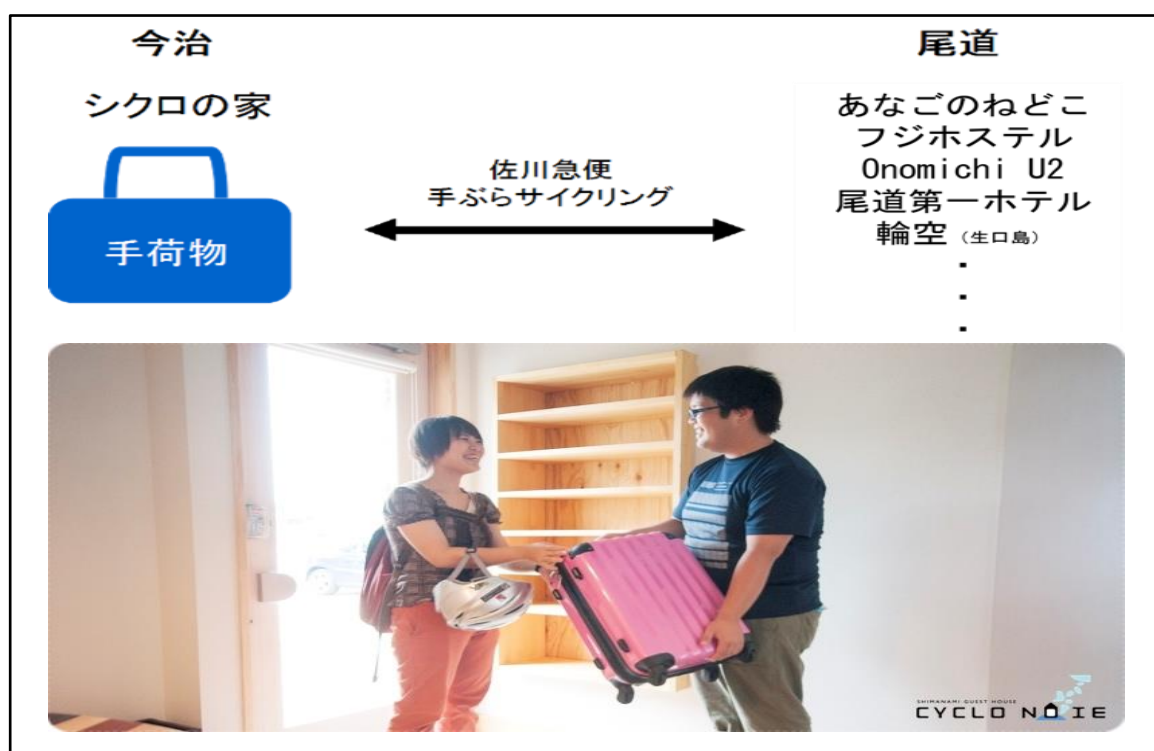
【室内自転車ガレージとメンテナンスルーム】



⑩居住地と南九州の交通結節点や宿泊施設とを結ぶ手荷物配送サービスの提供

県外からのサイクリスト等のさらなる誘客拡大を図る際には、居住地と南九州の交通結節点や宿泊施設とを結ぶ手荷物配送サービス（自転車の輸送を含む）の提供が必要であり、同サービスを提供することで大都市圏等からの距離的不利性を軽減させることができると考えられる。なお、南九州の交通結節点としては、鹿児島空港や志布志港、鹿児島中央駅等が想定される。

【しまなみ海道で実施されている手荷物配送サービス】



＜参考資料＞

報告会の開催結果

アンケート調査票

＜参考資料＞

1. 報告会の開催結果

本調査結果については、大隅地域の観光関連データを収集、分析し、戦略的な観光施策の展開や、観光関連産業等の地域経済の活性化を図るため、大隅広域観光開発推進会議が企画した「大隅地域観光マーケティング調査報告会」にて報告した。

(1) 報告会の概要

1) 主催

九州運輸局、おおすみ観光未来会議

2) 実施日

平成30年2月22日（木） 14時～16時

3) 場所

鹿屋市役所7階大会議室



4) 内容

内容	概要	発表者
【第1部】 大隅地域のサイ クルツーリズム 調査結果報告会	- 大隅地域を訪れるサイクリスト（自転車）の動向や消費行動等に関する調査結果の報告 - 実施主体：九州運輸局	九州経済研究所
【第2部】 大隅広域観光マ ーケティング調 査中間報告会	- 今年度3回実施した大隅地域を訪れる観光客のマーケティング調査に関する中間報告 - 最終報告書をまとめる前に、おおすみ観光未来会議会員等から、収集データの分析等に関する要望や意見を伺うもの	鹿児島大学法文学部 石塚 孔信教授

5) 参加者数及び参加予定者

40人

- ・おおすみ観光未来会議会員
- ・行政関係者（県、大隅地域内及び県内市町） 等

(2) 報告会資料

報告会の資料については以下の通りとなっている。

本日の報告内容

- ・序章 本調査の概要等
- ・第Ⅰ章 アンケート調査結果
- ・第Ⅱ章 全国の先進的事例の調査分析結果
- ・第Ⅲ章 調査分析結果を踏まえた課題の整理
- ・第Ⅳ章 南九州におけるサイクルツーリズムの促進策の検討

1

序章 本調査の概要等

1. 調査の背景と目的

- ・大隅半島は観光資源が点在する魅力的な地域である
- ・近年サイクリングブームにより、大隅地域においてもサイクリストの走行が頻繁に見られるようになっている
- ・海上交通網も整備されており、今後広域でのサイクルツーリズムを通じた観光地域づくりが期待される
- ・サイクリストの詳しい周遊状況は不明なため、今回調査を行った

＜南九州エリア＞



2

序章 本調査の概要等

2. 南九州におけるサイクルツーリズムのポテンシャル

①自転車チーム・組織が存在

シエルブルー

鹿屋体育大学自転車競技部

南大隅高校自転車競技部

②恵まれたコース

素晴らしい景観とアップダウン

③発達した海上交通網

桜島フェリー

垂水フェリー

山川・根占フェリー

フェリーさんふらわあ

3

序章 本調査の概要等

・南九州地区におけるサイクリングイベント

イベント名	概要
サイクルフェスタ in 桜島2017	2017年2月25日(土)～26日(日)に開催。 ・桜島一周ファンライド(36km)の他、タイムトライアルレース、ヒルクライムロードレースを実施。
第9回鹿児島県産業振興の森サイクルジャンボリー	2017年5月21日(日)に開催。 ・29kmのヒルクライムレースと20kmのヒルクライムレースを実施。
第17回ツール・ド・おおすみ	2017年11月25日(土)～26日(日)に開催。 ・鹿屋市にある「かのやばら園」を出発地点として、3コースを設定。SPコース(約30km)、Aコース(約100km)、Bコース(約60km)がある。
第3回かのやばら園フェスティバル	2017年12月23日(土・祝)に開催。 ・鹿屋市にある霧島ヶ丘公園の特設周回コースを7つのカテゴリーに合わせて走行。小学生から成人まで参加できる。

4

序章 本調査の概要等

ツール・ド・おおすみ

- ・2017年11月25日(土)26日(日)開催
- ・参加者500人以上
- ・2001年より毎年開催
- ・鹿屋市霧島ヶ丘公園が起着点

Aコース(101.7km)



Bコース(65.2km)



5

第Ⅰ章 アンケート調査結果

アンケート調査実施概要

・サイクリストへの調査実施時期

対面調査

2017年11月12日(日) 25日(土) 29日(水) 30日(木)

留置調査

2017年10月16日(月)～2018年1月15日(月)

回収サンプル数 **721件**

・施設運営従事者への調査

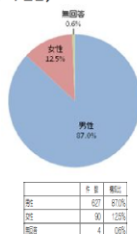
2017年10月中旬～11月中旬

回収サンプル数 **9件**

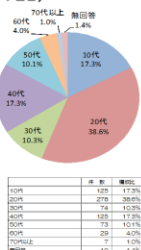
6

第Ⅰ章 アンケート調査結果

回答者の属性(性別)
(N=721)



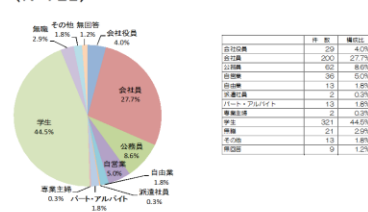
回答者の属性(年齢)
(N=721)



7

第Ⅰ章 アンケート調査結果

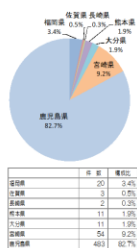
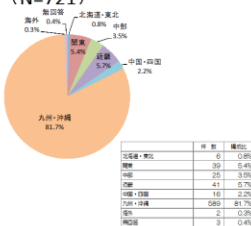
回答者の属性(職業)
(N=721)



8

第Ⅰ章 アンケート調査結果

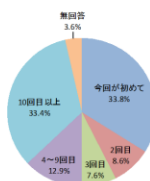
回答者の属性(居住地)
(N=721)



9

第Ⅰ章 アンケート調査結果

南九州地区でのサイクリング回数(N=721)

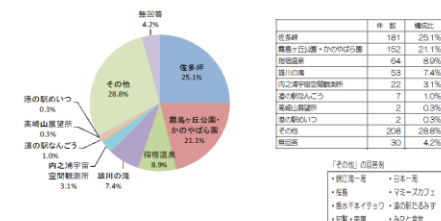


回数	件数	割合
10回以上	244	33.8%
4~9回	55	7.6%
1~3回	33	4.6%
初めて	26	3.6%

10

第Ⅰ章 アンケート調査結果

今回のサイクリングで訪れる最終目的地(N=721)

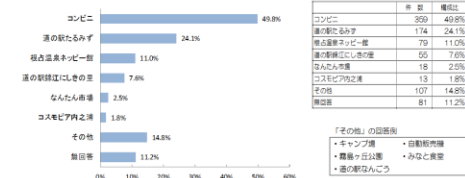


「その他」の回答例
・熊本県内
・熊本県外
・熊本県内
・熊本県外
・熊本県内
・熊本県外
・熊本県内
・熊本県外

11

第Ⅰ章 アンケート調査結果

今回のサイクリングでの立ち寄り場所(休憩地点)
(N=721 複数回答)

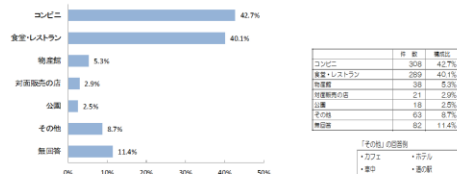


「その他」の回答例
・コンビニ
・道の駅
・道の駅周辺
・道の駅周辺にのりもの
・道の駅周辺にのりもの
・道の駅周辺にのりもの
・道の駅周辺にのりもの
・道の駅周辺にのりもの

12

第Ⅰ章 アンケート調査結果

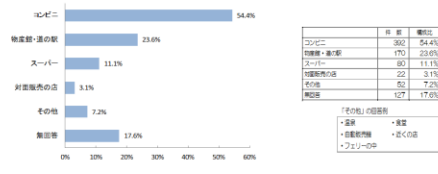
今回のサイクリングで食事をする場所
(N=721 複数回答)



13

第Ⅰ章 アンケート調査結果

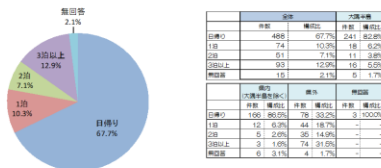
今回のサイクリングで買い物をする場所
(N=721 複数回答)



14

第Ⅰ章 アンケート調査結果

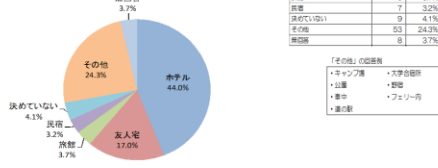
今回のサイクリングの日程(N=721)



15

第Ⅰ章 アンケート調査結果

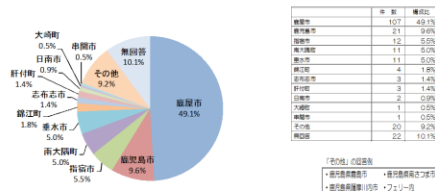
1泊目の宿泊施設(N=218)



16

第Ⅰ章 アンケート調査結果

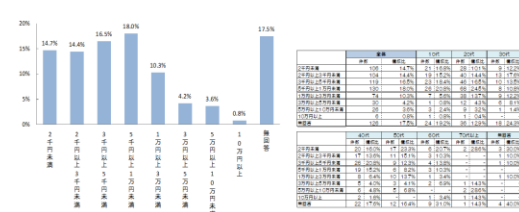
1泊目の宿泊市町名(N=218)



17

第Ⅰ章 アンケート調査結果

今回のサイクリングでの消費額(N=721)



18

第Ⅰ章 アンケート調査結果

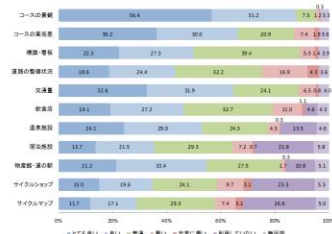
サイクリングで通ったルート



19

第Ⅰ章 アンケート調査結果

南九州地区のサイクリングに関する感想 (N=721)



20

第Ⅰ章 アンケート調査結果

南九州地区の良い点

分類	内容
コースの景観	景観(海や桜島)が素晴らしい(多数)
コースの高低差	アップダウンがトレーニングに最適
交通量	交通量が少なく走りやすい
飲食店	食べ物新鮮でおいしい
温泉施設	温泉が安い
その他	人が親切 など

21

第Ⅰ章 アンケート調査結果

南九州地区の悪い点

分類	内容
標識・看板	初めて来た人や土地勘のない人には道が分かりづらい ブルーライン、標識等が整備されていない
道路の整備状況	道が狭く、デコボコしている 道路に雑草が多い 街灯が少なく、夜は本当に暗い
飲食店 サイクルショップ	サイクルショップやコンビニ、休憩できる施設が少ない トラブル時の施設が少ない
宿泊施設	宿泊施設が少ない
その他	自転車競技のメッカなのに、一般のサイクリスト向けのPRをしていない など

22

第Ⅰ章 アンケート調査結果

南九州地区がサイクリングの適地としてさらに魅力を高めていくために整備してほしいこと

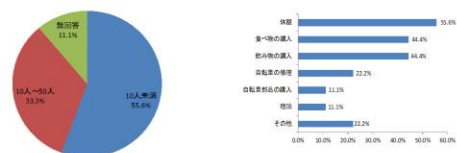
分類	内容
標識・看板	ブルーラインの整備
施設の整備	コンビニや公共施設にパンク修理セットの設置 40km間隔程度での入浴施設・野営施設の設置 サイクルラックの整備 タイヤチューブの自動販売機
サイクルマップ	サイクルマップ(コースごとに高低差、距離、飲食店情報)の整備 交通結節点等におけるサイクルマップの配布
イベント	多くのイベント、ツアーの開催 観光地やコンビニと連携したポイントラリー 南さつま市と大隅を結んだ広域なイベントの開催
PR	一般サイクリスト向けのPR サイクリストの聖地となるスポットの設置
その他	トラブル時のピックアップサービス など

23

第Ⅰ章 アンケート調査結果

施設運営従事者向けアンケート

一週間で立ち寄るサイクリストの数 (N=9) サイクリストが立ち寄る目的 (N=9)

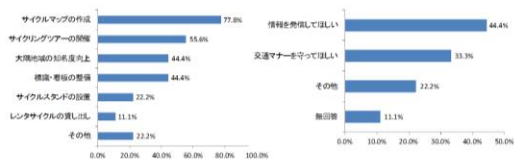


24

第Ⅰ章 アンケート調査結果

施設運営従事者向けアンケート

地域でサイクルツーリズムを
発展させる上で必要なこと(N=9)



25

第Ⅰ章 アンケート調査結果

サイクリングに関わることで今後取り組みたいと考えていること(N=9)



26

第Ⅱ章 全国の先進的事例の調査分析結果 「瀬戸内しまなみ海道」

瀬戸内しまなみ海道の概要

- ・西瀬戸自動車道の愛称で、本州・広島県尾道市と四国・愛媛県今治市を全長約80km(自転車の場合)で結ぶ架橋ルート
- ・海の上を自転車で走ることが出来る



27

第Ⅱ章 全国の先進的事例の調査分析結果 「瀬戸内しまなみ海道」

走行するロード

橋上の自転車専用道



28

第Ⅱ章 全国の先進的事例の調査分析結果 「瀬戸内しまなみ海道」

走行するロード

登りやすく設計されたアプローチ道



29

第Ⅱ章 全国の先進的事例の調査分析結果 「瀬戸内しまなみ海道」

環境整備

ブルーラインや道案内の看板



30

第Ⅱ章 全国の先進的事例の調査分析結果 「瀬戸内しまなみ海道」

環境整備

サイクルオアシス



31

第Ⅱ章 全国の先進的事例の調査分析結果 「瀬戸内しまなみ海道」

環境整備

レンタサイクルターミナル



32

第Ⅱ章 全国の先進的事例の調査分析結果 「瀬戸内しまなみ海道」

環境整備

トラブル救済の仕組み(島走レスキュー)



33

第Ⅱ章 全国の先進的事例の調査分析結果 「瀬戸内しまなみ海道」

ガイドブック



34

第Ⅱ章 全国の先進的事例の調査分析結果 「瀬戸内しまなみ海道」

前輪を外すだけで自転車を載せられる高速バス

- ・尾道～今治間を2,250円(自転車の追加料金無し)で運行
- ・1台につき6台まで(前輪が外せない一般の自転車は利用不可)



35

第Ⅱ章 全国の先進的事例の調査分析結果 「瀬戸内しまなみ海道」

自転車をそのまま積み込めるJR四国の列車

- ・期間限定のツアー企画で通常の車両を使用



36

第Ⅱ章 全国の先進的事例の調査分析結果 「瀬戸内しまなみ海道」

2014年サイクリングしまなみの様子

- ・参加者7281人、外国人が500人以上
- ・2014年米国CNN放送にて「世界7大サイクリングコース」の1つとして紹介



37

第Ⅱ章 全国の先進的事例の調査分析結果 「瀬戸内しまなみ海道」

今治中央レンタサイクルターミナル(サンライズ系山)

- ・しまなみ海道の開通に合わせて1999年4月に今治市が設置
- ・600台弱のレンタサイクルが準備してある他、宿泊施設、シャワー完備
- ・自転車歩行者道の清掃活動も実施



第Ⅱ章 全国の先進的事例の調査分析結果 「瀬戸内しまなみ海道」

NPO法人シクロツーリズムしまなみ/シクロの家

- ・2009年4月設立
- ・サイクルマップの作成やサイクリングツアーを実施
- ・サイクルオアシス制度が整備される契機を作った

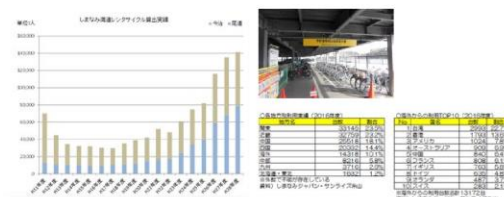


39

第Ⅱ章 全国の先進的事例の調査分析結果 「瀬戸内しまなみ海道」

しまなみジャパン

- ・2017年3月「瀬戸内しまなみ海道振興協議会」を日本版DMOとして発展改組
- ・発足後、尾道市側のレンタサイクルターミナルを運営



40

第Ⅱ章 全国の先進的事例の調査分析結果 「瀬戸内しまなみ海道」

ONOMICHI U2

- ・2014年3月オープン
- ・事業計画の公募を通して、尾道水道に隣接する築70年以上の県営の海運倉庫をリノベーションした複合施設



41

第Ⅱ章 全国の先進的事例の調査分析結果 「瀬戸内しまなみ海道」

しまなみ海道沿いの環境



42

第Ⅲ章 調査分析結果を踏まえた課題の整理

アンケート調査結果から見てきた問題点・課題

分類	内容
標識・看板	ブルーライン、標識等の整備
道路の整備状況	道が狭く、デコボコしている 道路の舗装が多い、街灯が少ない
施設	サイクルショップやコンビニ、休憩できる施設、宿泊施設が少ない トラブル時の施設が少ない コンビニや公共施設にバンク修理セットの設置 40km間隔程度での入浴施設・野営施設の設置 サイクルラックの整備 タイヤチューブの自動販売機の設置
サイクルマップ	サイクルマップ(コースごとに高低差、距離、飲食店情報)の整備 交通結節点等におけるサイクルマップの配布
イベント	多くのイベント、ツアーの開催 観光地やコンビニと連携したポイントラリー 薩摩半島(南さつま市等)と大隅半島を結んだ広域的なイベントの開催
PR	一般のサイクリスト向けのPRの強化 サイクリストの聖地となるスポットの設置

43

第Ⅲ章 調査分析結果を踏まえた課題の整理

先進事例調査から見てきた課題克服の方向性

分類	内容
標識・看板の整備	広島県尾道市～愛媛県今治市までブルーライン、標識が整備されている ブルーライン、標識等は道路の両側(道・県・市)が整備
施設の整備・充実	しまなみ海道沿いに約100箇所のサイクルオアシスが存在し、サイクリストが安心して休憩、トラブル対応等を行える施設が備わっている しまなみ海道沿いの飲食店、宿泊施設、コンビニ等にはサイクルスタンドが整備されており、サイクリストが立ち寄りやすいスポットが点在している
サイクルマップの整備	サイクルマップが整備されており、街中で容易に手に入る
イベントの開催	大規模な国際サイクリング大会の開催 民間でのガイド付きツアー、キャンプを伴うツアー等の開催 台湾や沖縄県うるま市等、他地域とサイクリングを通じた交流を実施
PRの強化	駅が観光資源の一つとしてしまなみ海道をPRしている サイクリストの集が数箇所に設置されている
その他	レンタサイクルターミナルの整備、レスキュー施設の整備 自転車への乗入れが可能なバスサービスの充実等公共交通機関との連携 サイクルスタンドの設置、サイクルトレインの企画・運行 手荷物宅配サービスの提供

44

第Ⅳ章 南九州における サイクルツーリズムの促進策の検討

①サイクリストが迷わず走行できる標識や看板等の整備

- ・広島県尾道市から愛媛県今治市まで続く
ブルーラインと標識
- ・地元のサイクリストはもちろん、遠方から来た
土地勘のないサイクリストには非常に大きな
安心材料となる
- ・アンケートからも整備を要望する声があった



課題
整備には時間と費用がかかる

45

第Ⅳ章 南九州における サイクルツーリズムの促進策の検討

①サイクリストが迷わず走行できる標識や看板等の整備

そこで、まずは交差点など、進路が比較的分かりづらい箇所において重点的に標識等を整備する

許可を得た上で、ルート上に
手作りの標識を設置している例



46

第Ⅳ章 南九州における サイクルツーリズムの促進策の検討

②“オアシススポット”の整備

- ・サイクリストが走行するフィールドは、
1日に100kmを超えることも少なくない
- ・数km～数10kmの手軽なサイクリングを
楽しみたいニーズもある



課題
地域住民の
理解と協力が必要

47

第Ⅳ章 南九州における サイクルツーリズムの促進策の検討

②“オアシススポット”の整備

そこで、南九州に点在している

役場・支所、郵便局、道の駅、飲食店、コンビニ、宿泊施設、ガソリンスタンド等のうち、協力的な施設から、無理の無い範囲でサイクルスタンドやバンク修理の道具を設置してもらう(費用負担は今後検討)ことで、周遊できる環境を整備する

48

第Ⅳ章 南九州における サイクルツーリズムの促進策の検討

③広域サイクルマップの作成と配布

- ・南九州全域をカバーし、
様々なコースを盛り込んだ
サイクルマップの作成
- ・サイクルマップの効果的な配布

課題
南九州広域での
情報発信力強化

49

第Ⅳ章 南九州における サイクルツーリズムの促進策の検討

③広域サイクルマップの作成と配布

- ・南九州に点在する観光資源をサイクリングコース
と結び付けたマップの作成(地域住民の参加)
- ・交通結節点や宿泊施設、アスリート食堂が大都市
圏で運営する飲食店等、効果的な地点での配布

50

第Ⅳ章 南九州における サイクルツーリズムの促進策の検討

④広域イベントの開催による南九州のPRと“おもてなし”意識の醸成

・広域イベントの開催は、南九州のPRに加え、大会の運営や
サイクリストとの交流を通して地域住民の“おもてなし”意識
の醸成につながる

・大隅半島から薩摩半島にわたるコースや、大隅半島から
宮崎県南部にわたるコースでのイベントの開催や、地域の
名産品を休憩所で提供するイベント、本土最南端である佐
多岬の他、夜間の交通量が少ない区間にて通行止めにし
て参加者が電飾をつけて走行するイルミネーションイベント
の開催

51

第Ⅳ章 南九州における サイクルツーリズムの促進策の検討

④広域イベントの開催による南九州のPRと“おもてなし”意識の醸成

大隅半島から薩摩半島にわたるコースの例

大隅半島から宮崎県南部にわたるコースの例



52

第Ⅳ章 南九州における サイクルツーリズムの促進策の検討

⑤多様な組織・媒体を活用したPRの強化

自転車に関する組織

シエルブルー
鹿屋体育大学自転車競技部
南大隅高校自転車部

PR

サイクリングイベント
プロモーションビデオ

2018年度中に完成予定の佐多岬展望台とあわせて
サイクリングコースをPR

53

第Ⅳ章 南九州における サイクルツーリズムの促進策の検討

⑤多様な組織・媒体を活用したPRの強化

本土最南端の碑など、サイクリストが来なくなるスポットの整備

しまみ海道にある『サイクリストの聖地』碑



54

第Ⅳ章 南九州における サイクルツーリズムの促進策の検討

⑥レンタサイクルターミナルの整備

交通結節点と観光資源を結ぶモデルコースの策定と、
レンタサイクルターミナルの整備

<南九州における交通結節点>
桜島港
垂水港
根占港
志布志港
鹿児島空港 など



<観光資源>
吾平山上陵
雄川の滝
佐多岬

短距離・長距離様々なモデルコース

55

第Ⅳ章 南九州における サイクルツーリズムの促進策の検討

⑦サイクリングと公共交通機関との連携

レンタサイクルターミナル間を、自転車を積載可能なバスやタクシーで結ぶ



56

第Ⅳ章 南九州における サイクルツーリズムの促進策の検討

⑧レスキュー態勢の整備

課題

協力態勢と費用

市街地ではない地域でトラブルが発生した際のレスキュー態勢

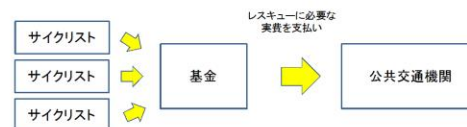


57

第Ⅳ章 南九州における サイクルツーリズムの促進策の検討

⑧レスキュー態勢の整備

レスキュー態勢を支えるための費用をサイクリストで薄く広く負担し、
公共交通機関との協力体制を築く



58

第Ⅳ章 南九州における サイクルツーリズムの促進策の検討

⑨サイクリストが滞在しやすい宿泊施設の整備

サイクリストは宿泊する際、高価な自転車を安全な所に保管したい
というニーズを持っている



59

第Ⅳ章 南九州における サイクルツーリズムの促進策の検討

⑩居住地と南九州の交通結節点や宿泊施設とを結ぶ手荷物配送サービスの提供

しまなみ海道では、宿泊地と宿泊地を結ぶ手荷物配送サービスが普及している



60

2. アンケート調査票

①アンケート調査票（対面調査）

調査地点：

<アンケート調査票（対面調査）>

※性別、年齢、居住地、今回の目的を教えてください。

性別	1. 男性	2. 女性			
年齢	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代	
	5. 50代	6. 60代	7. 70代以上		
職業	1. 会社役員	2. 会社員	3. 公務員	4. 自営業	5. 自由業
	6. 派遣社員	7. パート・アルバイト	8. 専業主婦	9. 学生	
	10. 無職	11. その他（	）		
居住地	■（ ）都・道・府・県（ ）市・区・町・村				
	■国外（国名： ）				
今回の目的	1. 自主トレーニング	2. 合宿	3. 観光	4. 自転車に乗る事	
	5. 帰省	6. その他（	）		

問1 大隅地域を中心とした南九州地区（鹿児島県と宮崎県南部）でのサイクリングは、今回を含めて何回目くらいですか？（1つ○）

1. 今回が初めて 2. 2回目 3. 3回目 4. 4～9回目 5. 10回目以上

問2 今回のサイクリングで訪れる最終目的地を教えてください。（1つ○）

1. 佐多岬 2. 雄川の滝 3. 霧島ヶ丘公園・かのやばら園
 4. 内之浦宇宙空間観測所 5. 高崎山展望所 6. 指宿温泉
 7. 道の駅なんごう 8. 港の駅めいつ 9. その他（ ）

問3 今回のサイクリングでの立ち寄り場所（休憩地点）・食事をする場所を、予定を含めて教えてください。（複数回答可）

分類	施設等		
立ち寄り場所 （休憩地点）	1. 道の駅錦江にしきの里	2. 道の駅たるみず	3. なんとん市場
	4. 根占温泉ネッピー館	5. コスモピア内之浦	6. コンビニ
	7. その他（	）	
食事をする場所	1. 対面販売の店（	2. 物産館（	）
	3. コンビニ（	4. 公園（	）
	5. 食堂・レストラン（	6. その他（	）

問4 今回のサイクリングで買い物をする場所を、予定を含めて教えてください。選択肢の番号を囲んだ上で、場所を記載してください。(複数回答可)

1. 対面販売の店 ()	2. 物産館・道の駅 ()
3. コンビニ ()	4. スーパー ()
5. その他 ()	

問5 今回のサイクリングの日程を教えてください。(1つ○)

1. 日帰り	2. 1泊	3. 2泊	4. 3泊以上
--------	-------	-------	---------

問6 問5で2～4のいずれかを回答された方に伺います。今回のサイクリングでの宿泊施設と宿泊した市町村名をそれぞれ下記の選択肢の中から選んで番号をご記入ください。
市町名がわからない場合は宿泊施設の名称を記載してください。

1泊目 宿泊施設 ()	宿泊地の市町名 ()
2泊目 宿泊施設 ()	宿泊地の市町名 ()
3泊目 宿泊施設 ()	宿泊地の市町名 ()

選択肢

宿泊施設

1. ホテル	2. 旅館	3. 民宿	4. 友人宅
5. 決めていない	6. その他 ()		

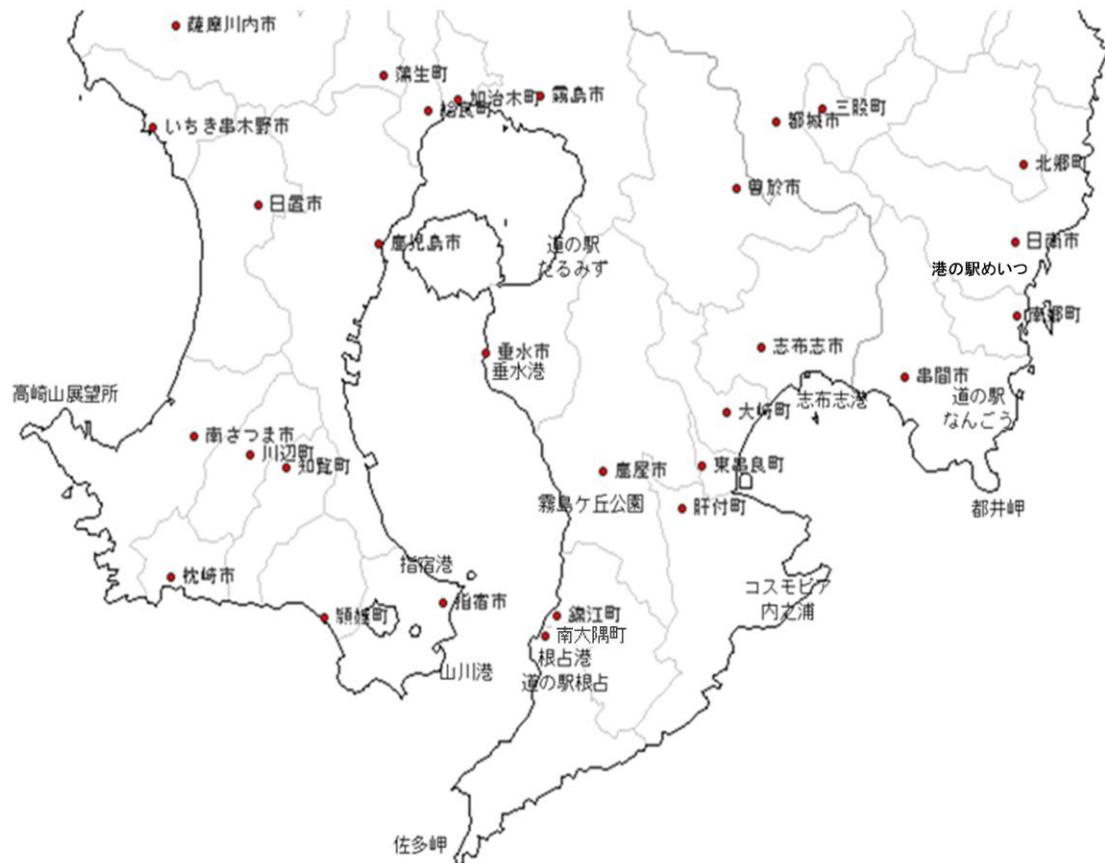
宿泊地の市町名

1. 鹿屋市	2. 垂水市	3. 曽於市	4. 志布志市	5. 大崎町
6. 東串良町	7. 錦江町	8. 南大隅町	9. 肝付町	10. 鹿児島市
11. 指宿市	12. 串間市	13. 日南市	14. その他 ()	

問7 今回のサイクリングでの消費額は予定を含めてどの位ですか？（ ）千円

問8 今回のサイクリングで通るルートを下記地図上に線で記入してください。

(スタート地点をS、ゴール地点をGで記入してください。)



問9 南九州地区（鹿児島県と宮崎県南部）のサイクリングに関する下記項目について、どのように感じられますか？（各1つ○）

項目	とても 良い	良い	普通	悪い	非常に 悪い	利用して いない
コースの景観	1	2	3	4	5	
コースの高低差	1	2	3	4	5	
標識・看板	1	2	3	4	5	
道路の整備状況	1	2	3	4	5	
交通量	1	2	3	4	5	
飲食店	1	2	3	4	5	6
温泉施設	1	2	3	4	5	6
宿泊施設	1	2	3	4	5	6
物産館・道の駅	1	2	3	4	5	6
サイクルショップ	1	2	3	4	5	6
サイクルマップ	1	2	3	4	5	6

※なお、上記のご回答に関して、特に良い、特に悪いと感じられたことについてその具体的な内容をお教えてください。

良い点	
悪い点	

問10 最後に、南九州地区（鹿児島県と宮崎県南部）がサイクリングの適地として、さらに魅力を高めていくために整備して欲しいことは何ですか？

例：自転車専用道路の整備、対面販売店の増設、等

ご協力ありがとうございました。

②アンケート調査票（ツール・ド・おおすみ参加者向け）

＜アンケート調査票（「ツールドおおすみ」参加者向け）＞

※最初に、あなたの性別、年齢、居住地を教えてください。

性別	1. 男性	2. 女性			
年齢	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. 50代
	6. 60代	7. 70代以上			
職業	1. 会社役員	2. 会社員	3. 公務員	4. 自営業	5. 自由業
	6. 派遣社員	7. パート・アルバイト	8. 専業主婦	9. 学生	
	10. 無職	11. その他（	）		
居住地	■（ ）都・道・府・県（ ）市・区・町・村				
	■国外（国名： ）				
今回の目的	1. イベントへの参加	2. 自主トレーニング	3. 合宿	4. 観光	
	5. 自転車に乗る事	6. 帰省	7. その他（	）	

問1 今回のイベントに参加するのは、今回を含めて何回目ですか？（1つ○）

1. 今回が初めて	2. 2回目	3. 3回目	4. 4～9回目	5. 10回目以上
-----------	--------	--------	----------	-----------

問2 南九州地区（鹿児島県と宮崎県南部）で開催される他のサイクリングイベント（「ツールド南さつま」、「わくわくさいくりんぐ in くしま」）等に参加されたことはありますか？（1つ○）

1. 両イベントに参加したことがある
2. 「ツールド南さつま」に参加したことがある
3. 「わくわくさいくりんぐ in くしま」に参加したことがある
4. どちらのイベントにも参加したことがない
5. その他のイベントに参加したことがある（
）

問3 今回のイベント参加の感想を教えてください。（1つ○）

1. 大変満足	2. やや満足	3. どちらでもない	4. やや不満足	5. 不満足
---------	---------	------------	----------	--------

問4 今回のイベント参加前後の過ごし方について教えてください。(1つ○)

- | |
|---|
| 1. イベントにのみ参加(イベント直前に現地入りし、イベント参加後即帰宅する) |
| 2. イベント前に現地入りして周辺を周遊(サイクリング)し、イベント参加後即帰宅する |
| 3. イベント直前に現地入りし、イベント後に周辺を周遊(サイクリング)して帰宅する |
| 4. イベント前に現地入りし周辺を周遊(サイクリング)し、イベント終了後も滞在し周辺を周遊して帰宅する |

問5 これまでにイベント参加以外で南九州地区(鹿児島県と宮崎県南部)にサイクリングに来たことはありますか?(1つ○)

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1. ある → <u>問7以降にお進みください</u> | 2. ない → <u>問6へお進みください</u> |
|-----------------------------|---------------------------|

問6 問5で「2. ない」と回答された方にお伺いします。その理由は何ですか?(複数回答可)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 日頃、サイクリングする場所は決まっているから |
| 2. 南九州地区(鹿児島県と宮崎県南部)は居住地から遠いから |
| 3. 南九州地区(鹿児島県と宮崎県南部)に来るのはイベント参加が目的だから |
| 4. これまでに来る機会がなかったから |
| 5. その他 () |

※問6の次は問16に進んでください。

※問7以降については、問5で「1. ある」と回答された方にお伺いします。

問7 南九州地区(鹿児島県と宮崎県南部)でのサイクリングはこれまでに何回くらいありますか?(1つ○)

- | | | | | |
|-------|-------|-------|---------|----------|
| 1. 1回 | 2. 2回 | 3. 3回 | 4. 4~9回 | 5. 10回以上 |
|-------|-------|-------|---------|----------|

問8 直近のサイクリングで訪れた際の最終目的地を教えてください。(1つ○)

- | | | |
|---------------|-----------|------------------|
| 1. 佐多岬 | 2. 雄川の滝 | 3. 霧島ヶ丘公園・かのやばら園 |
| 4. 内之浦宇宙空間観測所 | 5. 高崎山展望所 | 6. 指宿温泉 |
| 7. 道の駅なんごう | 8. 港の駅めいつ | 9. その他 () |

問 9 直近のサイクリングでの立ち寄った場所（休憩地点）と食事をした場所を教えてください。なお、食事をした場所については番号をお選びいただくとともに具体的な店舗・施設名をご記入ください。（複数回答可）

分類	施設等
立ち寄り場所 (休憩地点)	1. 道の駅錦江にしきの里 2. 道の駅たるみず 3. なんたん市場 4. 根占温泉ネッピー館 5. コスモピア内之浦 6. コンビニ 7. その他 ()
食事をした場所	1. 対面販売の店 () 2. 物産館 () 3. コンビニ () 4. 公園 () 5. 食堂・レストラン () 6. その他 ()

問 10 直近のサイクリングで買い物をした場所を教えてください。なお、番号をお選びいただくとともに具体的な店舗・施設名をご記入ください。（複数回答可）

1. 対面販売の店 () 2. 物産館・道の駅 ()
3. コンビニ () 4. スーパー ()
5. その他 ()

問 11 直近のサイクリングで南九州地区（鹿児島県と宮崎県南部）にお越しの際の日程を教えてください。（1つ〇）

1. 日帰り	2. 1泊	3. 2泊	4. 3泊以上
--------	-------	-------	---------

問 12 問 11 で 2～4 のいずれかを回答された方に伺います。今回のサイクリングでの宿泊施設と宿泊した市町村名をそれぞれ次ページの選択肢の中から選んで番号をご記入ください。市町名がわからない場合は宿泊施設の名称を記載してください。

1泊目	宿泊施設 ()	宿泊地の市町名 ()
2泊目	宿泊施設 ()	宿泊地の市町名 ()
3泊目	宿泊施設 ()	宿泊地の市町名 ()

選択肢

- | | | | |
|-----------|------------|-------|--------|
| 1. ホテル | 2. 旅館 | 3. 民宿 | 4. 友人宅 |
| 5. 決めていない | 6. その他 () | | |

宿泊地の市町名

- | | | | | |
|---------|---------|---------|------------|----------|
| 1. 鹿屋市 | 2. 垂水市 | 3. 曽於市 | 4. 志布志市 | 5. 大崎町 |
| 6. 東串良町 | 7. 錦江町 | 8. 南大隅町 | 9. 肝付町 | 10. 鹿児島市 |
| 11. 指宿市 | 12. 串間市 | 13. 日南市 | 14. その他（ ） | |

問 13 直近のサイクリングでの消費額はどの位でしたか？ () 千円

問 14 直近のサイクリングで通ったルートを下記地図上に線で記入してください。

(スタート地点をS、ゴール地点をGで記入してください。)



問 15 南九州地区（鹿児島県と宮崎県南部）のサイクリングに関する下記項目について、どのように感じられましたか？（各1つ○）

項目	とても 良い	良い	普通	悪い	非常に 悪い	利用して いない
コースの景観	1	2	3	4	5	
コースの高低差	1	2	3	4	5	
標識・看板	1	2	3	4	5	
道路の整備状況	1	2	3	4	5	
交通量	1	2	3	4	5	
飲食店	1	2	3	4	5	6
温泉施設	1	2	3	4	5	6
宿泊施設	1	2	3	4	5	6
物産館・道の駅	1	2	3	4	5	6
サイクルショップ	1	2	3	4	5	6
サイクルマップ	1	2	3	4	5	6

※なお、上記のご回答に関して、特に良い、特に悪いと感じられたことについてその具体的な内容を下記にご記入ください。

良い点	
悪い点	

問 16 最後に、南九州地区（鹿児島県と宮崎県南部）がサイクリングの適地として、さらに魅力を高めていくために整備して欲しいことは何ですか？

例：自転車専用道路の整備、対面販売店の増設、等

ご協力ありがとうございました。

③自転車による日本人観光客の周遊動向に関するアンケート調査票（留置調査）

留置調査

＜自転車による日本人観光客の周遊動向に関するアンケート調査票＞

九州運輸局では、鹿児島県大隅地域を中心とした南九州におけるサイクルツーリズムによる周遊促進に向けた観光動向調査を(株)九州経済研究所に委託して実施しています。

本調査は、南九州地区に**自転車でお越しの方々**を対象に周遊動向をおうかがいするアンケート調査となっています。ご多忙のところ誠に恐縮ですが、本調査にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、回答結果は統計処理し、他の目的に使用することはございません。

■ご記入いただいた調査票は、各施設の担当の方にご提出ください。

【お問い合わせ先】調査機関：(株)九州経済研究所 企画戦略部 担当：田中・藤田

TEL：099-225-7491 FAX：099-226-5975

実施主体：九州運輸局 観光部 観光地域振興課

TEL：092-472-2920 FAX：092-472-2334

※最初に、あなたの性別、年齢、居住地、今回の目的を教えてください。

性別	1. 男性	2. 女性			
年齢	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代	
	5. 50代	6. 60代	7. 70代以上		
職業	1. 会社役員	2. 会社員	3. 公務員	4. 自営業	5. 自由業
	6. 派遣社員	7. パート・アルバイト	8. 専業主婦	9. 学生	
居住地	■（ ）都・道・府・県（ ）市・区・町・村				
	■国外（国名： ）				
今回の目的	1. 自主トレーニング	2. 合宿	3. 観光	4. 自転車に乗る事	
	5. 帰省	6. その他（ ）			

問1 大隅地域を中心とした南九州地区（鹿児島県と宮崎県南部）でのサイクリングは、今回を含めて何回目くらいですか？（1つ○）

1. 今回が初めて 2. 2回目 3. 3回目 4. 4～9回目 5. 10回目以上

問2 今回のサイクリングで訪れる最終目的地を教えてください。（1つ○）

1. 佐多岬 2. 雄川の滝 3. 霧島ヶ丘公園・かのやばら園
 4. 内之浦宇宙空間観測所 5. 高崎山展望所 6. 指宿温泉
 7. 道の駅なんごう 8. 港の駅めいつ 9. その他（ ）

問3 今回のサイクリングでの立ち寄り場所（休憩地点）・食事をする場所を、予定を含めて教えてください。なお、食事をする場所については番号をお選びいただくとともに具体的な店舗・施設名をご記入ください。（複数回答可）

分類	施設等
立ち寄り場所 (休憩地点)	1. 道の駅錦江にしきの里 2. 道の駅たるみず 3. なんとん市場 4. 根占温泉ネッピー館 5. コスモピア内之浦 6. コンビニ 7. その他（ ）
食事をする場所	1. 対面販売の店（ ） 2. 物産館（ ） 3. コンビニ（ ） 4. 公園（ ） 5. 食堂・レストラン（ ） 6. その他（ ）

問4 今回のサイクリングで買い物をする場所を、予定を含めて教えてください。なお、番号をお選びいただくとともに具体的な店舗・施設名をご記入ください。（複数回答可）

1. 対面販売の店（ ） 2. 物産館・道の駅（ ）
3. コンビニ（ ） 4. スーパー（ ）
5. その他（ ）

問5 今回のサイクリングの日程を教えてください。（1つ○）

1. 日帰り 2. 1泊 3. 2泊 4. 3泊以上

問6 問5で2～4のいずれかを回答された方に伺います。今回のサイクリングでの宿泊施設と宿泊した市町村名をそれぞれ下記の選択肢の中から選んで番号をご記入ください。
市町村名がわからない場合は宿泊施設の名称を記載してください。

1泊目 宿泊施設（ ） 宿泊地の市町名（ ）
2泊目 宿泊施設（ ） 宿泊地の市町名（ ）
3泊目 宿泊施設（ ） 宿泊地の市町名（ ）

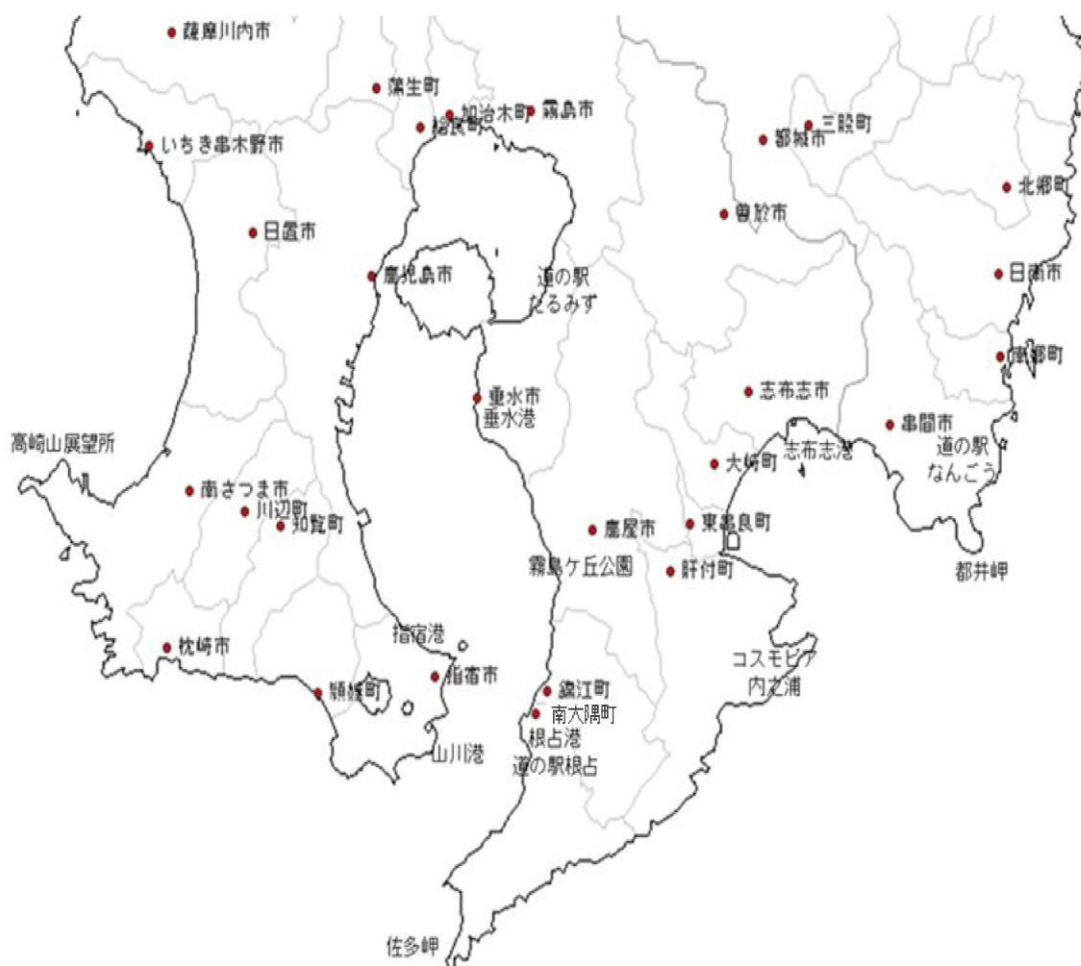
選択肢
宿泊施設 1. ホテル 2. 旅館 3. 民宿 4. 友人宅 5. 決めていない 6. その他
宿泊地の市町名 1. 鹿屋市 2. 垂水市 3. 曽於市 4. 志布志市 5. 大崎町 6. 東串良町 7. 錦江町 8. 南大隅町 9. 肝付町 10. 鹿児島市 11. 指宿市 12. 串間市 13. 日南市 14. その他

問7 今回のサイクリングでの消費額は予定を含めてどの位ですか？

() 千円

問8 今回のサイクリングで通るルートを下記地図上に線で記入してください。

(スタート地点をS、ゴール地点をGで記入してください。)



問 9 南九州地区（鹿児島県と宮崎県南部）のサイクリングに関する下記項目について、どのように感じられますか？（各1つ○）

項目	とても 良い	良い	普通	悪い	非常に 悪い	利用して いない
コースの景観	1	2	3	4	5	
コースの高低差	1	2	3	4	5	
標識・看板	1	2	3	4	5	
道路の整備状況	1	2	3	4	5	
交通量	1	2	3	4	5	
飲食店	1	2	3	4	5	6
温泉施設	1	2	3	4	5	6
宿泊施設	1	2	3	4	5	6
物産館・道の駅	1	2	3	4	5	6
サイクルショップ	1	2	3	4	5	6
サイクルマップ	1	2	3	4	5	6

※なお、上記のご回答に関して、特に良い、特に悪いと感じられたことについてその具体的な内容を下記にご記入ください。

良い点	
悪い点	

問 10 最後に、南九州地区（鹿児島県と宮崎県南部）がサイクリングの適地として、さらに魅力を高めていくために整備して欲しいことは何ですか？

例：自転車専用道路の整備、対面販売店の増設、等

ご協力ありがとうございました。

④アンケート実施地点（施設）で働く人へのアンケート調査票

＜アンケート実施地点（施設）で働く人へのアンケート調査票＞

問 1 一週間でだいたい何人くらいのサイクリストが立ち寄りますか？

- | | | |
|-----------|--------------|-----------|
| 1. 10 人未満 | 2. 10 人～50 人 | 3. 51 人以上 |
|-----------|--------------|-----------|

問 2 サイクリストが立ち寄る目的は何ですか？（複数回答可）

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 1. 休憩 | 2. 飲み物の購入 | 3. 食べ物の購入 | 4. 自転車部品の購入 |
| 5. 自転車の修理 | 6. 入浴 | 7. 宿泊 | |
| 8. その他（ | | ） | |

問 3 地域でサイクルツーリズム（自転車を活用した観光への取組）を発展させる上で必要なことは何だと思いませんか？

- | | | |
|-----------------|---------------|----------------|
| 1. サイクルマップの作成 | 2. 標識・看板の整備 | 3. レンタサイクルの貸出し |
| 4. 大隅地域の知名度向上 | 5. サイクスタンドの設置 | |
| 6. サイクリングツアーの開催 | 7. その他（ | ） |

問 4 サイクリストに要望することはありますか？

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 情報を発信してほしい | 2. 交通マナーを守ってほしい |
| 3. その他（ | ） |

問 5 サイクリングに関わることで今後取り組みたいと考えていることはありますか？

- | | | |
|---------------|-------------|----------|
| 1. サイクスタンドの設置 | 2. 修理用品等の拡充 | 3. 情報の発信 |
| 4. 特に考えていない | 5. その他（ | ） |

ご協力ありがとうございました。

